

消 防 年 報

平成 19 年版



冠岳展望公園（徐福公園）
串木野市政施行50周年を記念して、2000年に石像としては日本一の除福像(高さ6m)

いちき串木野市消防本部

（平成20年刊行）

はじめに

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び平成19年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成20年 6月

いちき串木野市消防本部

目 次

I 総 括

1	いちき串木野市のあらまし	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2
4	歴代消防長	
(1)	旧串木野市消防本部	9
(2)	いちき串木野市消防本部	9
5	歴代消防団長	
(1)	旧串木野市	10
(2)	旧市来町	10
(3)	いちき串木野市	10

II 総 務

1	消防の組織	11
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	12
3	いちき串木野市消防現勢分布図	14
4	消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	15
(2)	消防団	15
5	平成19年度の主な行事	16
6	消防予算	
(1)	平成19・20年度消防予算	17
(2)	市総予算と消防予算	18
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	18
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	19
(2)	消防職員の年齢	19
(3)	消防職員の勤続年数	20
(4)	消防職員の階級別及び過去3年間の教養状況	20
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	21
(2)	消防団員の勤続年数	22
(3)	消防団員の年齢	22

(4) 消防団員出場状況表	2 3
(5) 消防団員の報酬等	2 3
9 いちき串木野市消防連合後援会	2 4
10 表彰	2 4

Ⅲ 予防・危険物

1 防火対象物の状況	2 5
2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	2 6
3 建築同意事務等処理状況	
(1) 建築同意状況	2 7
(2) 専用住宅建築確認通知状況	2 7
4 消防用設備等設置検査実施状況	2 7
5 消防法関係届出状況	2 8
6 火災予防条例関係届出状況	2 9
7 防火啓発状況	3 0
8 危険物施設の状況	3 0
9 危険物関係許可・検査処理状況	3 1
10 危険物施設の立入検査状況	3 1
11 液化石油ガス等の保安指導状況	3 2
12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況	3 3
13 消防協力団体の結成状況	
(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	3 6
(2) 幼年消防クラブ	3 6
(3) 婦人防火クラブ	3 6
(4) 防火管理協会	3 7
(5) 危険物安全協会	3 7

Ⅳ 火災・救急・救助

1 平成19年中の火災発生状況	3 8
2 火災統計	
(1) 平成19年中の火災状況	3 9
(2) 過去5年間の年別火災概要	4 0
(3) 過去5年間の原因別火災発生件数	4 0
(4) 過去5年間の月別火災発生件数	4 1
(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数	4 1

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数	4 2
(7) 火災発生時の気象状況	4 3
3 いちき串木野市における大火記録	4 4
4 救急業務統計	
(1) 救急業務の沿革	4 5
(2) 救急業務取扱状況	4 6
(3) 傷病程度別搬送状況	4 6
(4) 診療科目別搬送状況	4 7
(5) 搬送別状況	4 7
(6) 覚知別出場状況	4 7
(7) 居住地別搬送状況	4 7
(8) 救急救命処置実施状況	4 7
(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況	4 8
(10) 曜日別救急出場状況	4 9
(11) 現場到着所要時間別出場件数	4 9
(12) 収容所要時間別搬送人員	4 9
(13) 時間別出場状況（急病件数及び総件数）	5 0
(14) 市別搬送状況（搬送先）	5 0
(15) 救急出場件数の推移	5 1
(16) 過去5年間の救急出場状況	5 1
(17) 年齢別搬送人員状況	5 2
(18) 各比率	5 2
5 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	5 3
(2) 過去5年間の救助出動状況	5 3
6 応援協定等の締結状況	5 4

V 機械・水利

1 基準消防力と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	5 5
(2) 消防団	5 5
(3) 消防職・団員と市民との割合	5 5
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	5 6

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	5 7
イ 市来地域	5 8
(3) 署・各分団ポンプ及びホース保有状況	5 9
(4) 消防資機材の保有状況	6 0
(5) 消火薬剤等の保有状況	6 1
(6) 原子力防災資機材の保有状況	6 1
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）	
ア 串木野地域	6 2
イ 市来地域	6 3
(8) 消防無線の状況	
ア 消防本部	6 4
イ 消防団	6 5

VI 気 象

1 気象観測の状況	6 6
2 風向の状況	6 7
3 各地の降水量（防災テレメーターによる。）	6 7

I 総括

面積	112.02km ²
人口	31,784人
世帯数	13,468世帯

(平成20年4月1日現在)

1 いちき串木野市のあらまし

いちき串木野市は、平成 17 年 10 月 11 日、旧串木野市と旧日置郡市来町が合併して誕生した新しい市である。

本市は、薩摩半島の北西部にあり西は東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北端に位置している。北東側には、標高 516 メートルの徐福伝説のある霊峰冠岳及び 519 メートルの弁財天を最高に数々の分峰が連なり、北は薩摩川内市と接し、南は大里平野と小丘をもって日置市に接している。また、東シナ海に面した良港に恵まれ、近海・遠洋漁業が盛んに行われ「マグロのまち串木野」として知名度が高い。

本市には、今から 4000 年～3000 年前（縄文時代後期中ごろ）から既に人が住みつき、土器を使用し海と関わり、陸地で植物を栽培する生活をしてきたことが実証されている。その証として、市来川上貝塚の発見研究により、市来式土器と呼ばれる様式の土器などが多数発掘され、その時代から海と陸の関わりある生活を営んでいたことがうかがわれ、時代とともに集落などの形を変え現在に至っている。

市来湊町では、今から約 400 年前、島津義弘の朝鮮役での活躍を祝って踊られた国指定の重要無形民族文化財の「七夕踊り」や約 200 年前、商港、宿場町として栄えたころ、京都の祇園祭に似せて行われたという「祇園祭」など、その昔からの芸能を現在も引き継いできており、海を介して経済、文化などに影響がもたらされている。

江戸時代末期（1865 年）には、薩摩藩の命により我が国初の海外留学生一行 19 名が、ヨーロッパへ向けて密かに出航し、初代文部大臣森有礼らなど近代日本の幕開けの原動力となった若き薩摩の志士一行が出航した黎明の地が羽島である。

平成 6 年に完成した串木野国家石油備蓄基地は、西薩町から荒川地内にかけて地下の岩盤内にトンネル 10 本を掘削し、我が国で消費される 3 日分に相当する 169 万キロリットルの原油を国の政策に基づき、常圧貯蔵横穴水封固定水床式で備蓄している。

このように本市は、昔から海との関わりが深く、様々な恵みをもたらす海を背景に焼酎・つけあげ・柑橘類などの地元産品、近年ではまぐろラーメン・ポンカレーなど食に関する知名度も向上し、様々な特色のある資源を有しており、現在、港湾施設や臨海部の整備を進めるとともに、企業誘致を図り、串木野新港を主に中国・東南アジア等との国際取引圏づくりをめざしている。

また、南九州西回り自動車道の整備や内陸部の開発などにより、本市を取り巻く交通・物流体系が一段と整備され、活発化している。

古い歴史と伝統のあるまち、白砂青松の吹上浜、山と緑の美しい環境の新しいいちき串木野市は、新市の基本理念として、「ひとが輝く 地域が輝く～地域ブランドによる自立したすこやかな都市の創造～」を設定し、「ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を将来の都市像に掲げ、新しいいちき串木野市の創造に向けて努力しているところである。

2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 (km ²)	人 口			世帯数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行 (市来町)					
昭和 10. 4. 1	町制施行 (串木野町)	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25. 10. 1	市制施行 (串木野市)	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17. 10. 11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併して、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3 消防の沿革

明治 36 年 12 月	○串木野村消防組創立
大正 5 年 9 月	○腕用ポンプ購入
大正 5 年	○市来村湊町に公設消防組を組織 (他の地域は、私設消防組を組織)
大正 9 年	○青年団により私設の島内消防組を組織 (鷹口10丁、水汲み用木製ツルベ10個、梯子1つを配備)
昭和 6 年 10 月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和 9 年 5 月	○消防ポンプ自動車 (フォード) 購入
6 月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和 10 年 4 月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和 14 年 4 月	○内務省令により串木野町警防団 (7 分団) に改称 ○市来町警防団を結成 (4 分団)
昭和 20 年 6 月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和 22 年 8 月	○警防団の組織を串木野町消防団 (8 分団)、市来町警防団 (4 分団) として改編
昭和 23 年 5 月	○串木野町消防団常備部発足 (部員 12 名、消防車 [フォード] 1 台)
9 月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和 25 年 8 月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10 月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和 26 年 4 月	○常備部団員定員 14 名となる。(2 名増員)
昭和 29 年 1 月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転 (現在の旭町 1 番地)
3 月	○常備部に消防ポンプ自動車 (日産) を購入
4 月	○串木野市消防本部・消防署設置 (職員数 15 名) 初代消防長 大園純夫就任
10 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 30 年 6 月	○中央分団に消防ポンプ自動車 (トヨタ) を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8 月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ (ラビット) を購入
9 月	○消防団定数条例改正 237 名となる。 ○水上分団を本浦分団に改称
昭和 31 年 5 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 31 年 10 月～ 昭和 32 年 10 月	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入

昭和33年	4月	○消防団定数条例改正 227名となる。
	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
	11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
昭和34年	7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ
昭和35年	10月	自動車を購入
昭和36年	4月	○消防職員1名採用(実員16名)
	5月	○消防職員1名退職1名採用(実員16名)
	9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年	4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年	11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年	2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
	5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○消防団定数条例改正 204名となる。 ○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
	9月	○消防職員1名市役所へ転出(実員16名)
昭和41年	2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○第2代消防長 大久保重雄就任
		○消防職員1名市役所へ転出1名転入(実員17名)
	11月	○消防署に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車(日産)を羽島分団に配置替
昭和42年	1月	○羽島分団の車庫を羽島5, 237番地に新築
	7月	○消防職員1名市役所から転入(実員18名) ○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
	8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入
		○消防団定数条例改正 210名となる。
	9月	○消防職員1名採用(実員19名)
昭和43年	2月	○消防署に救急自動車(日産セドリック)を購入、任意で救急業務を開始
	3月	○消防職員1名採用(実員20名)
	5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
	12月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入
昭和44年	3月	○消防無線局を開設
	4月	○消防職員1名市役所から転入(実員21名)
	8月	○消防職員1名市役所へ転出(実員20名)
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入(運搬車を廃車)
	12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年	1月	○消防職員1名採用(実員21名)
	4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
	6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(運搬車を廃車)
	6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
	7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
	9月	○消防職員1名採用(実員22名)
	10月	○第3代消防長 入江 森就任

昭和46年	10月	○消防職員1名市役所へ転出（実員21名）
	11月	○消防職員1名採用（実員22名）
		○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和47年	2月	○市合同庁舎が昭和通133番地1に新築され、消防本部・署も移転
		○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に新築
	3月	○優良消防機関（署・団）として消防庁長官表彰を受ける。
	8月	○荒川分団の車庫詰所を荒川2, 347番地に新築
	12月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳12, 984番地2に新築
		○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和48年	2月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
	3月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	7月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
		○消防職員1名採用（実員23名）
	9月	○消防職員1名採用（実員24名）
	11月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
		○旭分団の車庫詰所を下名14, 105番地に新築
昭和49年	4月	○消防職員1名退職1名採用（実員24名）
	11月	○羽島地区の電話自動化により119番専用線を開設
	12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和50年	9月	○照島分団の車庫詰所を下名7, 574番地1に新築
	10月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	12月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和51年	4月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
	6月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ250cc）を購入
	7月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
		○市来町消防団役場分団結成
	12月	日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、
昭和52年	4月	17名で発足する。
	9月	○職員定数条例改正 26名となる。
		○消防職員1名退職3名採用（実員26名）
昭和53年	3月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	5月	○職員定数条例改正 28名となる。
	7月	○消防職員2名採用（実員28名）
	10月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和54年	3月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
	4月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
	5月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島9, 675番地に新築
	6月	○消防職員2名採用（実員30名）
	8月	○消防職員1名退職（実員29名）
	9月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
	11月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
		○荒川分団の小型動力ポンプ（53年5月購入分）を旭分団に配置替
	12月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和55年	1月	○本浦分団の車庫詰所を西浜町1番地に新築
	6月	○消防職員1名退職（実員28名）

昭和55年	7月	○第4代消防長 軍神 計就任
	12月	○中央分団に小型動力ポンプを購入(更新)
昭和56年	2月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入(更新)
		○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
	4月	○消防職員1名退職(実員27名)
	5月	○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
		○消防職員2名採用(実員29名)
	8月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結(川内市との従前の協定を破棄)
昭和57年	3月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
	10月	○消防職員1名退職(実員28名)
		○甌島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
	11月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結(市来町・東市来町との従前の協定を破棄)
昭和58年	12月	
昭和59年	2月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	4月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3, 362番地2に新築
	11月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
昭和60年	3月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
		○照島分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
	4月	○第5代消防長 植屋一郎就任
		○消防職員1名市役所へ転出(実員27名)
	10月	○消防職員1名採用(実員28名)
昭和61年	10月	○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車(日産)の寄贈を受け、消防署に配置
		○中央分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
	12月	○消防職員条例定数改正 31名となる。
		○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を購入
昭和62年	3月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結
	4月	○川南分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
	10月	○消防職員1名退職(実員27名)
	12月	○消防職員4名採用(実員31名)
昭和63年	12月	○消防署に消防ポンプ自動車(三菱)を購入(更新)
平成元年	2月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	4月	○消防署に救急車(トヨタ)を購入(更新)
	10月	○消防職員1名退職(実員30名)
		○消防職員1名採用(実員31名)
平成2年	1月	○消防職員条例定数改正 34名となる。
	3月	○冠岳分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
		○コーアガス鹿児島(株)から救急車(トヨタ)の寄贈を受ける。
	4月	○昭和56年に日本自動車工業会から寄贈された救急車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置
	10月	○消防職員3名採用(実員34名)
		○消防職員条例定数改正 38名となる。
平成3年	3月	○消防署にはしご付消防自動車(24m級)を購入
平成3年	4月	○荒川分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	9月	○串木野市消防団条例の全部改正
		○消防職員2名採用(実員36名)

平成 4 年	1 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	3 月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	4 月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
	8 月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○消防職員 1 名市役所へ異動（実員 3 6 名）
	1 0 月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすゞ）の寄贈を受け、中央分団に配置
		○石油コンビナート等特別防災区域指定
	1 1 月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
	1 2 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 5 名）
平成 5 年	3 月	○昭和 5 0 年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替
		○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
		○消防職員 1 名退職（実員 3 4 名）
	4 月	○中央分団の車庫詰所を旭町 1 番地 2 に中央地区コミュニティ消防センターとして新築
	1 0 月	○第 6 代消防長 俣木一幸就任
平成 6 年	3 月	○消防職員 3 名採用（実員 3 7 名）
		○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
	4 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 4 5 0 番地に新築
	8 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	1 0 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	1 2 月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
平成 7 年	2 月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
		○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
	3 月	○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 3 番地 1 5 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
		○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
		○消防職員 1 名市役所へ異動
平成 8 年	3 月	○第 7 代消防長 尾崎正躬就任
		○消防職員 2 名採用（実員 3 8 名）
	4 月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 4 1 7 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築
		○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
	8 月	○消防職員 1 名市役所へ異動
	1 1 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
		○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
		○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○昭和 5 7 年に購入した生福分団の消防ポンプ自動車を消防署に運搬車として配置換え
平成 9 年	1 月	
	3 月	○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
		○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 2 1 8 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 7 名）

平成 9 年	9 月	○第 8 代消防長 植ノ原敬一就任
	1 1 月	○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
	1 2 月	○日本地下石油備蓄(株)串木野事業所と応援協定を締結
平成 1 0 年	1 月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
	2 月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入 (更新)
	3 月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
	4 月	○旭分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○消防職員 1 名退職 (実員 3 7 名)
	8 月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの 1 1 9 番通報転送等に関する協定」を締結
平成 1 1 年	3 月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	4 月	○照島分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○消防職員 1 名退職 (実員 3 6 名)
平成 1 2 年	3 月	○第 9 代消防長 橋之口博繁就任
		○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
		○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
	1 1 月	○本浦分団車庫詰所を西浜町 1 番地 2 に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築 (平成 1 1 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 2 月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		○高規格救急自動車を購入し、平成 1 3 年 1 月 1 日運用開始 (平成 1 2 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 1 3 年	3 月	○気象情報収集装置を整備 (平成 1 2 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック (運搬車) の貸与を受け、消防署に配置
	4 月	
	1 2 月	○消防職員 1 名退職 (実員 3 7 名)
		○第 1 0 代消防長 平石耕二就任
		○消防署に救急車 (トヨタ) を購入 (更新)
平成 1 4 年	9 月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ (B 3 級) を購入 (平成 1 3 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 2 月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
平成 1 5 年	4 月	○川西薩地区法定合併協議会 (2 市 4 町 3 村) が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
		○消防職員 1 名市役所へ異動
	7 月	○第 1 1 代消防長 福菌照雄就任
	1 0 月	○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
	1 2 月	○串木野市は川西薩地区法定合併協議会を離脱
		○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
		○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地を購入 (上名 6, 6 6 0 番 1 外 2 筆・面積 4 5 2. 3 3 m ²) (平成 1 5 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 1 6 年	4 月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正
		「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
平成 1 7 年	2 月	
	3 月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
		○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地

平成17年 3月	<p>区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（3月13日 串木野・市来区間開通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生福分団の車庫詰所を上名6,660番地1に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○簡易地図検索装置を整備
4月	<ul style="list-style-type: none"> （平成16年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防職員1名退職（実員37名） ○第12代消防長 野田 豊就任 ○市町村合併（串木野市と市来町）により新市「いちき串木野市」誕生 ○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足 ○初代消防長 野田 豊就任 ○職員8名（日置地区消防組合職員3名・旧串木野市役所職員1名・旧市来町役場職員4名）が転任、実員45名となる。いちき分遣所に12名を配置する。 ○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により1団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。（団長1名、副団長4名、13分団、定数299名）
平成18年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○救急3号車運用開始
平成18年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ○中央・照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成17年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員2名退職（実員43名） ○第2代消防長 内屋照男就任 ○消防職員5名採用（実員48名）
平成18年12月	<ul style="list-style-type: none"> ○高規格救急車（日産）を購入し、12月23日運用開始（いちき分遣所配置換え）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成19年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防署に消防ポンプ自動車（銀河号：日野・CD-I型）を購入（更新）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員1名退職（実員47名）
平成19年11月	<ul style="list-style-type: none"> ○中央分団に小型ポンプ（B-3級）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成20年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○川南分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車（日産）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員1名退職（実員46名）
平成20年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防職員2名増員（消防吏員1名、その他職員1名）（実員48名）

4 歴代消防長

(1) 旧串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	昭和29年4月	昭和41年6月	大 園 純 夫
第2代	昭和41年7月	昭和46年9月	大 久 保 重 雄
第3代	昭和46年10月	昭和54年12月	入 江 森
第4代	昭和55年1月	昭和60年3月	軍 神 計
第5代	昭和60年3月	平成5年3月	植 屋 一 郎
第6代	平成5年4月	平成7年3月	俣 木 一 幸
第7代	平成7年4月	平成9年3月	尾 崎 正 躬
第8代	平成9年4月	平成11年3月	植ノ原敬一
第9代	平成11年4月	平成13年3月	橋 之 口 博 繁
第10代	平成13年4月	平成15年3月	平 石 耕 二
第11代	平成15年4月	平成17年3月	福 藪 照 雄
第12代	平成17年4月	平成17年10月	野 田 豊

(2) いちき串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成18年3月	野 田 豊
第2代	平成18年4月	現 在	内 屋 照 男

5 歴代消防団長

(1) 旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治36年12月	明治44年5月	中尾浅助
	第2代	明治44年6月	大正5年7月	江藤千代蔵
	第3代	大正5年7月	大正5年11月	松元幸助
	第4代	大正5年11月	大正11年6月	折田金次郎
	第5代	大正11年6月	昭和5年10月	池田良之助
	第6代	昭和5年10月	昭和14年3月	江藤千代蔵
警防団	第7代	昭和14年4月	昭和14年9月	田尻森吉 (町長兼務)
	第8代	昭和14年10月	昭和19年4月	江藤千代蔵
	第9代	昭和19年4月	昭和22年7月	花牟禮武夫
消防団	第10代	昭和22年8月	昭和26年8月	富宿與助
	第11代	昭和26年8月	昭和30年7月	福山盛吉
	第12代	昭和30年8月	昭和37年3月	富宿與助
	第13代	昭和37年4月	昭和43年3月	須崎 巽
	第14代	昭和43年4月	昭和47年3月	寺師彦好
	第15代	昭和47年4月	昭和63年3月	益満利幸
	第16代	昭和63年4月	平成16年3月	網屋長行
第17代	平成16年4月	平成17年10月	岡田正治	

(2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和22年8月	昭和52年4月	田崎勇藏
	第2代	昭和52年5月	昭和57年6月	白石久治
	第3代	昭和57年6月	昭和59年4月	久木菌耕平
	第4代	昭和59年5月	平成3年9月	西ノ園厚志
	第5代	平成3年10月	平成5年3月	前田二夫
	第6代	平成5年4月	平成9年3月	新村 明
	第7代	平成9年4月	平成17年10月	山元幸夫

(3) いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	現在	岡田正治

Ⅱ 総 務

消防組織 1本部 1署 1分遣所 1団

消防職員 48名

(平均年齢 39.4歳)

(平成20年4月1日現在)

消防団員 283名

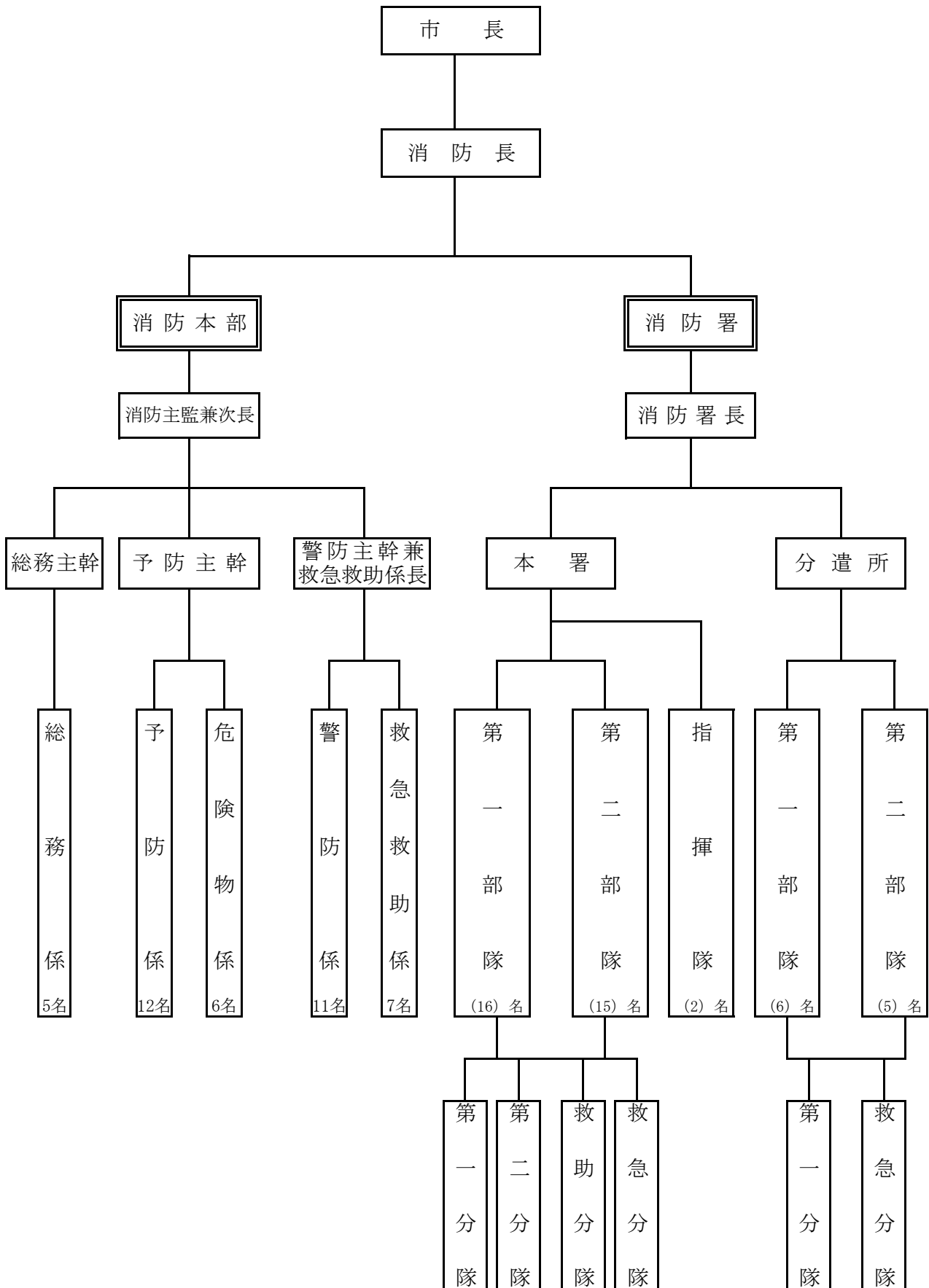
(平均年齢 46.4歳)

(平成20年4月1日現在)

平成20年度消防予算 494,324千円

(住民1人当り 15,553円)

1 消防の組織 (H20. 4. 1現在)



2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

<消防本部>

○ 総務係

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) 職員の人事及び組織に関すること。 | (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。 |
| (2) 職員の服務に関すること。 | (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。 |
| (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。 | (14) 情報公開に関すること。 |
| (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。 | (15) 消防年報及び消防統計に関すること。 |
| (5) 予算の編成及び執行に関すること。 | (16) 消防表彰に関すること。 |
| (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。 | (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。 |
| (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。 | (18) 会議及び儀式に関すること。 |
| (8) 公有財産に関すること。 | (19) 消防協会及び消防学校に関すること。 |
| (9) 公印の保管に関すること。 | (20) 消防職員委員会に関すること。 |
| (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。 | (21) 消防手数料等の収納に関すること。 |
| (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。 | (22) 消防長会に関すること。 |
| | (23) 消防連合後援会に関すること。 |
| | (24) 消防団員互助会に関すること。 |
| | (25) 消防団事務に関すること。 |
| | (26) 他の係に属さないこと。 |

○ 予防係

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 火災予防の企画に関すること。 | (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。 |
| (2) 火災予防査察に関すること。 | (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。 |
| (3) 建築同意事務に関すること。 | (8) その他火災予防に関すること。 |
| (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。 | |
| (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。 | |

○ 危険物係

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。 | (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。 |
| (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 | (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。 |
| (3) 危険物施設の予防査察に関すること。 | (7) 危険物安全協会に関すること。 |
| (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。 | (8) その他危険物に関すること。 |

○ 警防係

- (1) 消防計画及び各種防災計画に関する
こと。
- (2) 火災その他の災害等の警戒及び防
御に関すること。
- (3) 災害統計（火災、救急及び救助統
計を除く。）及び報告に関する事
こと。
- (4) 消防応援協定に関する事
こと。
- (5) 職員及び団員の警防関係教育訓
練に関する事
こと。
- (6) 消防施設、装備等の整備計画及
び維持管理に関する事
こと。
- (7) 国庫補助金、石油交付金等に関
する事
こと。
- (8) 気象、防災情報等の収集、伝達
及び広報に関する事
こと。
- (9) 消防無線及び防災行政無線に関
する事
こと。
- (10) 消防用燃料の受払いに関する事
こと。
- (11) その他警防に関する事
こと。

○ 救急救助係

- (1) 救急、救助及び潜水業務に関す
ること。
- (2) 救急、救助の統計、報告及び証
明に関する事
こと。
- (3) 職員の救急、救助及び潜水の教
育訓練に関する事
こと。
- (4) 救急、救助及び潜水に係る資機
材の維持管理に関する事
こと。
- (5) 応急手当の普及啓発に関する事
こと。
- (6) 医師会、医療機関等との連絡調
整に関する事
こと。
- (7) その他救急及び救助に関する事
こと。

<消防署>

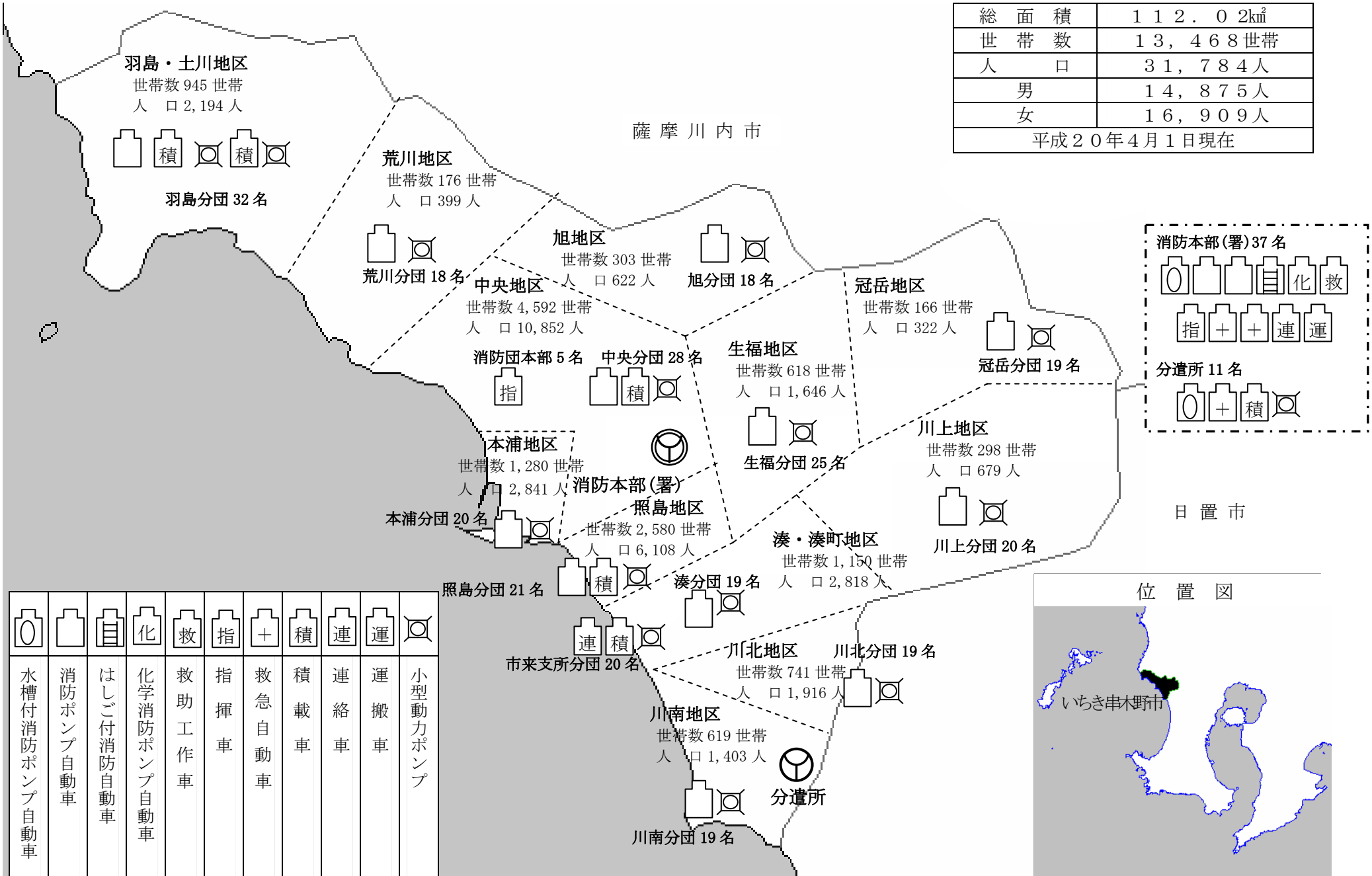
- (1) 消防通信及び受付事務に関す
ること。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の
災害活動に関する事
こと。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関す
ること。
- (4) 署内の会議に関する事
こと。
- (5) 署長会に関する事
こと。
- (6) 防火広報、予防及び警防査察の
実施に関する事
こと。
- (7) 署員及び団員の訓練に関する事
こと。
- (8) 消防水利及び地理調査に関す
ること。
- (9) 防火対象物の訓練指導に関す
ること。
- (10) 防火協力団体等の指導育成に
関する事
こと。
- (11) 気象、防災情報及び火災警報
等に関する事
こと。
- (12) 応急手当の普及に関する事
こと。
- (13) 空地及び空家の管理指導に関
する事
こと。
- (14) 住宅等の火災予防に関する事
こと。
- (15) 消防資機材の出納及び保管に
関する事
こと。
- (16) その他消防業務の実施に関す
ること。

<分遣所>

- (1) 受付事務に関する事
こと。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の
災害活動に関する事
こと。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関す
ること。
- (4) 防火広報、予防及び警防査察の
実施に関する事
こと。
- (5) 消防水利及び地理調査に関す
ること。
- (6) 防火対象物の訓練指導に関す
ること。
- (7) 防火協力団体等の指導育成に
関する事
こと。
- (8) 応急手当の普及に関する事
こと。
- (9) 空地及び空家の管理指導に関
する事
こと。
- (10) 住宅等の火災予防に関する事
こと。
- (11) その他消防業務の実施に関す
ること。

3 いちき串木野市消防現勢分布図

総面積	112.02km ²
世帯数	13,468世帯
人口	31,784人
男	14,875人
女	16,909人
平成20年4月1日現在	



4 消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況

(1) 消防本部（署）・分遣所

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
消防本部 消防署	昭和通 133番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5階建)延 80.0	着工 S58.7.27 竣工 S59.3.20 増改築 H4.10.22
いちき 分遣所	大里 11番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

(2) 消防団

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
中央分団	旭町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	227.02	建築面積 69.08 延面積 118.28	H5.3
本浦分団	西浜町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	165.29	建築面積 52.79 延面積 86.00	H12.3
照島分団	東島平町 417番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	167.65	建築面積 64.71 延面積 120.08	H8.3
	(別府班) 下名 3,362番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	100.00	建築面積 40.00 床面積 40.00	S58.12
羽島分団	羽島 5,218番地	鉄筋コンクリート造 2階建	コミュニ ティセン ター 敷地内	建築面積 89.25 延面積 120.74	H9.3
	(土川班) 羽島 9,675番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建築面積 40.80 床面積 40.80	S54.3
荒川分団	荒川 2,450番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H6.3
旭分団	下名 14,103番地15	鉄骨造平屋建	コミュニ ティセン ター 敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H7.2
生福分団	上名 6,660番1	鉄筋コンクリート造 2階建	452.33	建築面積 72.96 延面積 130.08	H17.3
冠岳分団	冠岳 12,984番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	231.38	建築面積 37.50 延面積 75.00	H7.3
資材倉庫	東島平町 26番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建築面積 62.65 延面積 62.65	S50.9
湊分団	湊町 3,126番地22	鉄筋コンクリート造 2階建	1,128.79 のうち一部	建築面積 81.52 延面積 136.80	S58.3
川南分団	大里 705番地11	鉄骨造H型 2階建	230.57	建築面積 53.38 延面積 106.76	S61.12
川北分団	大里 5,631番地	鉄骨造 2階建	595.31	建築面積 53.535 延面積 107.07	H4.12
川上分団	川上 1,171番地	鉄骨造H型 2階建	1,505.02 のうち一部	建築面積 48.19 延面積 96.38	S62.11
市来支所 分団	湊町 3,305番地	鉄筋コンクリート造 2階建	7600.82 のうち一部	建築面積 46.80 延面積 93.60	H5.12

5 平成19年度の主な行事

4月	5日	第1回消防幹部会議（消防本部会議室）
5月	13日	消防団員初任者研修会（消防本部会議室他）
	29日	消防連合後援会総会（市内）
6月	1日	県消防救助技術指導会（鹿児島県消防学校）
	1日～7月15日	ウミガメ保護監視パトロール（市来地域分団）
	10日	消防団員互助会総会（消防本部会議室）
7月	13日	第2回消防幹部会議（消防本部会議室）
8月	26日	消防団部長以上幹部研修会（冠岳コミュニティセンター）
	7日	集団災害事故救急訓練（ミドリ薬品串木野駅前店付近一帯）
9月	9日	第1回いちき串木野市消防団規律訓練大会（日置北部公設地方卸売市場）
	27日	県石油コンビナート等総合防災訓練（日本地下石油備蓄㈱串木野事業所）
10月	5日	第3回消防幹部会議（消防本部会議室）
	13日	第2回自衛消防隊対抗防火大会（串木野庁舎南側職員駐車場）
11月	9日～15日	秋季火災予防運動、火災防ぎょ訓練（各分団毎）
	9日	第2回消防技術指導会（消防本部訓練場）
	4日	第2回いちき串木野市消防団家族体育大会（長崎鼻公園ソフトボール場）
	27日	第4回消防幹部会議（消防本部会議室）
12月	29日～30日	消防団年末夜警（市内全域）
	29日	消防団年末夜警の市長等巡視
1月	6日	平成20年消防出初式（市民文化センター）
2月	5日	第5回消防幹部会議（消防本部会議室）
3月	1日～7日	春季火災予防運動、消防合同演習（湊地区）

6 消防予算

(1) 平成19・20年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

款・項・目	節	平成19年度	平成20年度	比較増減
9. 消 防 費		501,897	494,324	△ 7,573
1. 消 防 費		501,897	494,324	△ 7,573
1. 常備消防費		389,619	390,564	945
	給 料	184,110	180,442	△ 3,668
	職 員 手 当 等	128,368	127,012	△ 1,356
	共 済 費	53,144	53,645	501
	報 償 費	0	0	0
	旅 費	1,535	1,321	△ 214
	需 用 費	9,281	9,002	△ 279
	役 務 費	2,940	2,951	11
	委 託 料	674	667	△ 7
	使用料及び賃借料	723	718	△ 5
	原 材 料 費	20	20	0
	備 品 購 入 費	5,785	13,219	7,434
	負担金、補助及び交付金	2,861	808	△ 2,053
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	177	758	581
2. 消防団費		92,376	83,997	△ 8,379
	報 酬	13,466	13,466	0
	共 済 費	6,425	6,425	0
	災 害 補 償 費	1,502	1,506	4
	報 償 費	5,271	5,587	316
	旅 費	26,446	29,778	3,332
	需 用 費	4,743	3,507	△ 1,236
	役 務 費	1,411	1,077	△ 334
	委 託 料	0	0	0
	使用料及び賃借料	100	245	145
	原 材 料 費	15	15	0
	備 品 購 入 費	31,528	21,159	△ 10,369
	負担金、補助及び交付金	875	827	△ 48
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	593	404	△ 189
3. 消防施設費		5,491	8,188	2,697
	賃 金	297	179	△ 118
	需 用 費	359	342	△ 17
	役 務 費	0	0	0
	委 託 料	273	283	10
	使用料及び賃借料	17	339	322
	工 事 請 負 費	4,000	6,500	2,500
	原 材 料 費	21	21	0
	備 品 購 入 費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	524	524	0
				0
				0
4. 水 防 費		108	105	△ 3
5. 災害対策費		14,303	11,470	△ 2,833

(2) 市総予算と消防予算 (当初予算)

(単位：千円)

区分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
16	10,495,000	411,076	3.9	321,537	78.2	46,857	11.4	33,158	8.1	151	0.04	9,383	2.3
17	17,834,780	726,564	4.1	560,191	77.1	126,465	17.4	18,373	2.5	273	0.04	21,262	2.9
18	14,538,000	810,785	4.0	441,528	77.1	67,114	17.4	2,749	2.5	117	0.04	299,277	2.9
19	12,838,000	501,897	3.9	389,619	77.6	92,376	18.4	5,491	1.1	108	0.02	14,303	2.8
20	12,457,000	494,324	4.0	390,564	79.0	83,997	17.0	8,188	1.7	105	0.02	11,470	2.3

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較 (当初予算)

年度	消 防 予 算 (円)	住民一人当たりの 消 防 費 (円)	一世帯当たりの 消 防 費 (円)	人 口 (人)	
				世 帯 数	
16	411,076,000	15,595	37,992	26,360	
				10,820	
17	726,564,000	21,959	53,420	33,087	
				13,601	
18	810,785,000	24,817	60,036	32,670	
				13,505	
19	501,897,000	15,519	37,153	32,340	
				13,509	
20	494,324,000	15,553	36,704	31,784	
				13,468	

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(H20. 4. 1現在)

階級	区分 実員	消 防 本 部								消 防 署				分 遣 所		
		消 防 長	次 長	主 幹	総 務 係	予 防 係	危 険 物 係	警 防 係	救 急 救 助 係	署 長	指 揮 隊	第 一 部 隊	第 二 部 隊	分 遣 所 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊
司令長	1	1 ※														
司 令	5		1 ※	3 (内2※)					1 (主幹兼務)	1 ※	2 ※	1				
司令補	11				1	4	1	2	1			4	5	1		1
士 長	21				2	5	5	4	5			7	7		3	4
副士長	1				1								1			
消防士	8					3		5				4	2		2	
その他	1				1											
合 計	48	1	1	2	5	12	6	11	7	1	2	16	15	6		5

注：1. ※印は日勤者

2. 署長を除く消防署及び分遣所職員は、本部員を兼ねる。

(2) 消防職員の年齢

(H20. 4. 1現在)

階級	年齢	20	20	25	30	35	40	45	50	55	60	合	平
		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
司 令 長	未									1		1	58.0
司 令	満							1	2	2		5	53.2
司 令 補						1	2	8				11	45.4
士 長					3	14	4					21	37.6
副 士 長					1							1	31.0
消 防 士		2	4	1	1							8	27.4
そ の 他				1								1	28.0
合 計		2	5	5	16	6	9	2	3			48	39.4

(3) 消防職員の勤続年数

(H20. 4. 1現在)

階級	勤続年数	5年未満	5年	10年	15年	20年	25年	30年	35年以上	合計
			9年	14年	19年	24年	29年	34年		
司令長									1	1
司令							1	3	1	5
司令補					1	3	6	1		11
士長	5		7	6	3					21
副士長			1							1
消防士	7	1								8
その他	1									1
合計	13	1	8	7	6	7	4	2		48

(4) 消防吏員の階級別及び過去3年間の教養状況

(H20. 4. 1現在)

階級別	学科別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		1	5	11	21	1	8			
消防 大学 校	救助科			1						
	火災調査講習会		2							
消 防 学 校	初任科	1	5	11	20	1	6		3	4
	救急Ⅰ課程	1	5	11	7					
	救急Ⅱ課程			9	6					
	救急標準課程				7					
	救急科				3			1		1
	気管挿管講習			2	3			2	2	1
	救助科		3	6	5					
	警防科			1	1					1
	予防科(課程)	1	2	4	1					
	査察課程				1				1	
	予防査察課程			1	1					
	火災調査課程			2	3	1				
	初級幹部科			2						1
	中級幹部科			1						
無線科		2								
職員指導員科	1	2								
梯子車研修		1	2	1						
救急救命 九州研究所	救急救命士研修			2	7					1
	薬剤投与追加講習			1						1
気管挿管病院実習			2	1						
海洋研究 開発機構	潜水業務管理研修		1							
	潜水技術特別研修			1	1					
消防救急緊急自動車 運転技能者研修		1								

8 消防団

(1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(H20. 4. 1現在)

分団 区分	団 本部	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	湊	川 南	川 北	川 上	市 来 支 所	合 計
団長	1														1
副団長	4														4
分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
副分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
部長		4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	2	32
班長		6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	4	58
団員		16	12	11	20	10	10	15	11	11	11	11	12	12	162
実員	5	28	20	21	32	18	18	25	19	19	19	19	20	20	283
定員	5	32	20	25	32	20	20	25	20	20	20	20	20	20	299
所 轄 区 域		串 木 野 地 区 (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	市 来 地 域	
世帯数		4,592	1,280	2,580	945	176	303	618	166	1,150	619	741	298		13,468
人口		10,852	2,841	6,108	2,194	399	622	1,646	322	2,818	1,403	1,900	679		31,784
団長	副団長	分 団 長													
岡 田 正 治	山井原久 手木迫 元政 幸正 昭敏	柳 田 三 男	上 新 薰	山 口 武 生	久 保 一 夫	東 幸 基	諏 訪 義 光	木 場 良 一	松 下 進	迫 六 男	田 崎 昭 彦	池 田 郁 郎	三 輪 貞 弘	中 間 久 敬	

(2) 消防団員の勤続年数

(H20. 4. 1現在)

階級	勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長								1		1
副団長									4	4
分団長				1	3	1	3	5		13
副分団長			1		1	4	5	2		13
部長			2	4	12	10	4			32
班長		3	14	19	16	16				58
団員	62	49	29	12	8	8	1	1		162
合計	62	52	46	36	40	40	14	12		283

(3) 消防団員の年齢

(H20. 4. 1現在)

階級	年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長											1	1	65.0
副団長										2	2	4	67.5
分団長				1				1	4	4	3	13	60.0
副分団長				1				2	2	7	1	13	57.8
部長				2		2	8	14	3	3	3	32	55.1
班長				5	3	16	18	14	1	1	1	58	51.0
団員	8	21	29	26	17	19	22	17	2	1	1	162	40.5
合計	8	21	29	35	20	37	51	51	19	12	12	283	46.4

(4) 消防団員出場状況表

(H19年度)

分団別 出場区分		分団別															合計
		団本部	中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	市来支所		
火災等災害	火災	回数	11	3	3	3	1	0	1	5	0	3	4	4	3	6	47
		人員	18	58	42	29	15	0	18	66	0	35	40	43	37	64	465
	風水害等の災害	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
		人員	5	27	18	23	32	16	18	25	15	17	16	17	18	10	257
	小計	回数	12	4	4	4	2	1	2	6	1	4	5	5	4	7	61
		人員	23	85	60	52	47	16	36	91	15	52	56	60	55	74	722
演習訓練等	演習訓練	回数	23	4	4	4	3	2	3	2	2	5	4	4	4	5	69
		人員	40	49	46	45	66	27	46	35	34	58	44	40	45	65	640
	その他	回数	16	18	18	19	18	18	17	18	17	17	18	18	20	17	249
		人員	26	187	138	177	201	131	135	164	130	140	144	142	159	144	2,018
	小計	回数	39	22	22	23	21	20	20	20	19	22	22	22	24	22	318
		人員	66	236	184	222	267	158	181	199	164	198	188	182	204	209	2,658
その他の	広報指導	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	警防調査等	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別警戒	回数	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	30
		人員	9	49	35	45	61	28	36	50	32	38	36	38	39	40	536
	捜索	回数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2	11
		人員	13	0	0	0	0	0	0	0	0	21	5	5	10	34	88
	その他	回数	22	12	11	10	14	10	9	11	10	9	13	10	12	13	166
		人員	60	42	31	32	47	25	28	36	42	28	37	30	34	39	511
	小計	回数	29	14	13	13	16	12	11	13	12	13	16	13	15	17	207
		人員	82	91	66	77	108	53	64	86	74	87	78	73	83	113	1,135
合計	延回数	80	40	39	40	39	33	33	39	32	39	43	40	43	46	586	
	延人員	171	412	310	351	422	227	281	376	253	337	322	315	342	396	4,515	

(5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

階級区分		階級区分						
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	年報酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200	39,700
	技術報酬	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000						
費用弁償	災害・訓練等出動手当	1回1人 5,100						

9 いちき串木野市消防連合後援会

(H20. 4. 1現在)

後援会(部)名	会(部)長	役職名
中央分団後援会	野元克己	会長
本浦分団後援会	安藤義明	
照島分団後援会	上迫田守	監事
羽島地区公民館消防後援部	萩元慶二	副会長
荒川地区公民館消防後援部	星原静	
旭地区公民館消防後援部	西野壹	
生福地区公民館消防後援部	松田昭和	
冠岳地区公民館消防後援部	松下兵衛	
湊分団後援会	妙円園努	副会長
川南分団後援会	本田幸広	監事
川北分団後援会	松崎直孝	
川上分団後援会	内田政司	

10 表彰(平成19年度)

- (1) 消防庁長官表彰
- 功労章
 - (団本部) 山元幸夫
 - 永年勤続功労章
 - (川北) 池田郁郎
 - (川北) 西久保弘
- (2) 日本消防協会会長表彰
- 精績章
 - (川北) 池田郁郎
 - 勤続章
 - (生福) 木場良一
 - (羽島) 梶赦知雄
 - (川南) 西ノ園隆義
 - (川南) 内匠康義
- (3) 鹿児島県知事表彰
- 50年勤続章
 - (団本部) 山元幸夫
 - 40年勤続章
 - (川北) 西久保弘
- (4) 鹿児島県消防協会総裁表彰
- 功績章
 - (生福) 池之上年治
 - (生福) 池田正人
 - (冠岳) 松下純則
 - (川上) 田渕幸広
 - (川上) 田渕隆武
 - (羽島) 松寄勝雄
 - (湊) 乗添光雄
 - (羽島) 有村育雄
 - (羽島) 高橋誠二
 - (川南) 宇都講治
 - (川南) 小橋口幸生
 - (川北) 重信政廣
 - (川上) 住吉誠造
 - 精績章
 - (荒川) 竹之内一夫
 - (川上) 古川清行
 - (羽島) 赤崎義美
 - (冠岳) 谷口義秀
- (署) 福園忠司 (生福) 坂下春樹
 (署) 野田和徳 (冠岳) 大平正明
 (署) 浜田秀一 (湊) 内野勝之
 (川上) 永井正規
- (7) いちき串木野市長感謝状
- 20年以上勤続団員の奥様
 - (生福) 池之上リウ子
 - (生福) 池田睦子
 - (冠岳) 松下リエ子
 - (川上) 田渕弘子
 - (川上) 田渕暢子
 - (羽島) 松寄妙子
 - (湊) 乗添光子
 - (羽島) 有村久子
 - (羽島) 高橋真弓
 - (川南) 宇都町子
 - (川南) 小橋口順子
 - (川北) 重信富喜子
 - (川上) 住吉京子
 - 須賀婦人消防協力隊
 - (20年勤続)
 - 萩木場栄子
 - (永年勤続: 6年以上)
 - 松元初子
 - 消防団協力事業所
 - (表示証の交付)
 - 鹿児島協同食品(株)
 - 鹿児島プロフーズ(株)
 - 久木園建設(株)
 - さつま日置農業協同組合
 - 中馬砕石(株)
 - 西田塗装
 - 西日本ベストパッカー(株)
 - 前田金物店
 - 三井串木野鉱山(株)
 - 南九州コンクリート(株)
- (5) 鹿児島県消防協会日置支部
- 15年勤続章
 - (支所) 中間久敬
 - (旭) 金井政行
 - (冠岳) 川畑千秋
 - (中央) 久保哲己
 - (中央) 木場三紀夫
 - (中央) 川崎広貴
 - (本浦) 上新秀二
 - (本浦) 西村博孝
 - (荒川) 中野伸一
 - (旭) 芹ヶ野募
 - (冠岳) 久保親雄
 - (中央) 田島勇夫
 - (本浦) 岡田義也
 - (照島) 満留久人
 - (照島) 新村裕恒
 - (羽島) 田畑雄一
 - (川上) 道岡圭三
- (6) いちき串木野市長表彰
- 10年勤続章
 - (支所) 田中俊二
 - (冠岳) 大平良徳
 - (中央) 上屋昭二
 - (荒川) 戸田伸明

Ⅲ 予防・危険物

防火対象物数（法第17条）	・・・・・・・・	1,129
危険物施設数（法第11条）	・・・・・・・・	157

（平成20年4月1日現在）

1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいため、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。(H20.4.1現在)

対象物別		区分	対象物数 (150㎡以上)	防火管理者が必 要な対象物数 (150㎡未満を含む)	定期点検 が必要な 対象物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	20	45	11
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	20	23	2
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	52	27	7
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	7	5	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	196	17	
6 項	イ	病院、診療所、助産所	34	18	
	ロ	福祉、更生、救護施設、援護施設等の類	26	14	
	ハ	幼稚園、盲学校、ろう学校、養護学校	20	4	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	80	15	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	2	2	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	3	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11 項		神社、寺院、教会の類	5	2	
12 項	イ	工場、作業場	174	11	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	35		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	122		
15 項		前各項に該当しない事業場	154	28	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	114	33	8
	ロ	上記以外の複合用途対象物	55	4	
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長 50m以上のアーケード	3		
合		計	1, 129	255	35

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（H20.4.1現在）

令別表第一区分		4階	5階	6階	10階	合計
5項	イ 旅館・ホテル等	1 湊町 1				1
	ロ 共同住宅・寄宿舍等	41 中央 11 本浦 5 照島 10 羽島 1 川北 5 湊町 4 湊 5	15 中央 1 照島 13 湊町 1			56
6項	イ 病院・診療所等	5 中央 1 照島 3 湊町 1				5
	ロ 各種福祉施設等	1 川南 1	1 中央 1			2
7項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	3 照島 3	2 照島 2			5
12項	イ 工場又は作業場	2 中央 1 荒川 1				2
14項	倉庫	1 本浦 1				1
15項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4 中央 1 本浦 2 羽島 1				4
16項	イ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	9 中央 9	1 中央 1	1 中央 1	1 中央 1	12
	ロ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4 中央 4				4
合計		71	19	1	1	92
地区別	中央	27	3	1	1	32
	本浦	8				8
	照島	16	15			31
	羽島	2				2
	荒川	1				1
	川南	1				1
	川北	5				5
	湊	5				5
湊町	6	1			7	
専用住宅		1				1

3 建築同意事務等処理状況

(1) 建築同意状況

(H19年度)

対象物別 工事種別	三 項 口	四 項	五 項 口	六 項 イ	六 項 口	七 項	十二 項 イ	十三 項 イ	十四 項	十五 項	十六 項 イ	専住 その 他	合 計
新 築	1	2	2	1	2		2	5	11	14	3	12	55
増 築						1							1
そ の 他				2	1		1		1	6			11
合 計	1	2	2	3	3	1	3	5	12	20	3	12	67

(2) 専用住宅建築確認通知状況

(H19年度)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	4	7	15	7	4	3	3	0	3	29	1	5	81

4 消防用設備等設置検査実施状況

(H19年度)

対象物別 設 備 別	二 項 口	四 項	五 項 口	六 項 イ	六 項 口	七 項	十二 項 イ	十三 項 イ	十五 項	十六 項 イ	合 計
消 火 器	1	1	2	1	3		3		1	3	15
屋 内 消 火 栓 設 備						1					1
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備				1	1						2
自 動 火 災 報 知 設 備	1			2	1		1			1	6
消防機関へ通報する火災報知設備				1	1						2
非 常 警 報 設 備		1			2				1		4
避 難 器 具					1						1
誘 導 灯	1	1		1	1					3	7
誘 導 標 識					1		1				2
移 動 式 粉 末 消 火 設 備					1			1			2
合 計	3	3	2	6	12	1	5	1	2	7	42

5 消防法関係届出状況

(H19年度)

区分 対象物別		防火管理者 選任届	防火管理者 解任届	消 防 計 画 作成(変更)届	工事整備対象 設備等着工届	消防用設備等 (特殊消防用設備等) 設 置 届	消防用設備等 点検結果報告
1 項	イ						
	ロ	4	3	4	2	2	17
2 項	イ						
	ロ	3	3	3		3	8
	ハ						
3 項	イ						
	ロ	1		1	1	2	5
4 項		4	2	4		3	22
5 項	イ	1		1	1	1	8
	ロ			1		2	7
6 項	イ	3	3	4		11	27
	ロ	1	1	4	9	12	21
	ハ	2	2	2			5
7 項		4	4	6	2	2	21
8 項							1
9 項	イ						
	ロ						1
10 項							2
11 項		1	1				1
12 項	イ	1	1	1	4	5	17
	ロ						
13 項	イ				1	1	1
	ロ						
14 項							3
15 項		4	3	4		3	20
16 項	イ	3	3	3	6	7	17
	ロ						1
16の2 項							
16の3 項							
17 項							
18 項							
19 項							
20 項							
合 計		32	26	38	26	54	205

6 火災予防条例関係届出状況

(H19年度)

種 別 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
炉													
ボ イ ラ ー 設 備							3	6					9
変 電 設 備					1	1		2					4
発 電 設 備		1			1			1					3
蓄 電 池 設 備								1		1			2
温 風 暖 房 機													
水素ガスを充てんする気球	2			1 3	2		3	3	1				2 4
消 防 用 設 備 等 緩 和 願			1										1
防 火 対 象 物 使 用 開 始			1	1	1	3	3	5	4	1	1		2 0
火災とまぎらわしい煙又は 火炎を発するおそれのある行為	1	3	1	3	3	1	4	6	3	1 8	5	1	4 9
煙 火 打 ち 上 げ	1	1		3	5	1 2	2	1		1		4	3 0
禁 止 行 為 の 解 除 承 認					1			1	1			1	4
給 湯 湯 沸 設 備								1					1
道 路 工 事	2	4	3	5	3	6	3	4	1 0	5	4	4	5 3
合 計	6	9	6	2 5	1 7	2 3	1 8	3 1	1 9	2 6	1 0	1 0	2 0 0

7 防火啓発状況

(H19年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	5	春・秋火災予防運動期間中 又は火災気象通報発表時 等の防火上警戒を要する 時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	46	
広報くしきのおしらせ版)	市 内 全 家 庭	8	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	6	
避 難 訓 練 等 実 施	各公民館・各事業所等	156	各公民館、各事業所等から の依頼で実施
防 火 講 話 ・ 映 画 等	各公民館・各事業所等	12	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

8 危険物施設の状況

(H20.4.1現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下	1	4	5		13		15	1	3			14	56
5倍を越え 10倍以下		2	5	2	7		2	2	7			8	35
10倍を越え 50倍以下			11		7				8			4	30
50倍を越え 100倍以下			1						10				11
100倍を越え 150倍以下			3		1				5				9
150倍を越え 200倍以下									5				5
200倍を越え 1000倍以下			2						1		1		4
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	1	6	33	2	28		17	3	39		2	26	157

9 危険物関係許可・検査処理状況

(H19年度)

種 別	施設区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				計	
			屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	移 送		一 般
設 置 許 可								1						1
変 更 許 可								2	6		1			9
完 成 検 査								3	6		1			10
水 圧 ・ 水 張 検 査									3					3
仮使用（貯蔵取扱）承認									5					5
計								6	20		2			28

10 危険物施設の立入検査状況

(H19年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所		
屋 内 貯 蔵 所	6	6
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	26	26
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	24	24
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	18	32
屋 外 貯 蔵 所	3	3
給 油 取 扱 所	37	37
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所	1	1
一 般 取 扱 所	21	21
計	138	152
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 所	22	22

11 液化石油ガス等の保安指導状況

(1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

(2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

(3) 液化石油ガス施設等の現況

(H20.4.1現在)

物 質	数 量	貯蔵・取扱施設数	備 考
液化石油ガス	300kg以上	217	
圧縮アセチレンガス	40kg以上	2	
シアン化ナトリウム	30kg以上	1	毒物
硫 酸	200kg以上	2	劇物

12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

(1) 概 要

位 置： いちき串木野市西薩町1番地及び北部丘陵地（荒川・下名地区）
備 蓄 方 式： 常圧貯蔵横穴水封固定水床式
面 積： 貯油施設地区26ha（投影）地上施設地区5ha
貯蔵許可数量： 1,740,874.4KL（約175万KL）
類 別・品 名： 第4類 第1石油類(原油)
地下貯油槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）
形 状： 卵 型（高さ 22m × 幅 18m × 長さ 555m）
ユニット数： 3 TK-101 2基
TK-102 4基
TK-103 4基
水封トンネル： 3本
地上荷役設備： 操油施設・用役施設・電気計装施設・公害防止施設・安全防災設備
海上荷役設備： 10万DWT級1点係留浮標式係留設備1基・海底原油配管2,300m
危険物の移送量： 受け入れ時 120,000KL/日
払い出し時 96,000KL/日
他の危険物施設数： 屋外タンク貯蔵所 7 地下タンク貯蔵所 1
屋内貯蔵所 1 一般取扱所 6 移送取扱所 2
石油コンビナート等特別防災区域指定： 平成4年8月28日
串 木 野 基 地 起 工： 昭和62年3月31日
第一期オイルイン開始： 平成5年1月9日
第一期オイルイン完了： 平成5年1月21日 原油量 約33万3千KL
第二期オイルイン開始： 平成6年6月7日
第二期オイルイン完了： 平成6年11月22日 原油量 約135万6千KL
備蓄原油総量 約168万9千KL

(2) 現 況

ア 緊急放出訓練

この訓練は、緊急放出という国家の安全保障に大きく係る事態に、安全、迅速かつ円滑に対応出来る総合的な体制を維持・整備するために、実際にタンカーを使用して原油を受払いし、荷役設備の機能・安全点検を行いつつ緊急時の対応手順の把握及び改善、人的能力の向上を図ることを目的に実施している。平成5年のオイルイン後、5回の訓練を実施しており、6回目の緊急放出訓練を平成19年10月22日から25日の間に実施した。今回の訓練では、前回までの経験を活かし全社的な体制のもと、一人ひとりが役割を認識し確実に業務を遂行することにより、訓練を無事故・無災害・無公害で完遂することができた。



【緊急放出訓練中のタンカー】

イ 防災訓練

第15回自主防災訓練を平成19年6月23日に実施した。この訓練は、消防防災計

画に則り、当基地において万一火災等が発災した場合、被害を最少限に抑えるために自衛防災組織の編成、並びに各班に与えられた任務を有効に機能できるよう訓練するとともに、石炭法に基づく総合防災訓練に向けた予備訓練として実施しているものである。

ウ 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

平成19年度鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練を平成19年9月27日に実施した。この訓練は、毎年1回、鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づき特別防災区域串木野地区における災害発生を想定し、防災関係機関及び串木野国家石油備蓄基地が一体となって総合的な防災訓練を実施するもので、災害応急活動の習熟並びに迅速、かつ円滑な関係機関との連絡、協調性を確立し、防災体制の充実、強化と防災意識の高揚を図ることを目的としている。

訓練は、陸域と海域の訓練があり、陸域訓練は原油揚荷作業中に薩摩地方を震源とする強い地震で原油揚荷設備から漏れた油に着火し火災が発生、また、堅坑上部室内でガスが発生し、作業員がガス中毒及び足を骨折したという想定で、消防など12機関・団体から192名が参加し実施した。

参加者は、関係機関への情報伝達、酸素呼吸器を装着しての負傷者救出作業及び応急処置、防災ヘリでの救急搬送、流出した油を食い止める土のう積み、自衛防災隊による初期消火活動などを行い、最後は原油揚荷設備に向け一斉放水した。

海域訓練については、10月に6回目の緊急放出訓練を控えていることから、昨年引き続き串木野新港での鹿児島県西部排出油等防除協議会に基づいた海上防災訓練に参加、流出した油をオイルフェンスで防ぎ、海上と陸上から回収する訓練などを行った。

両訓練ともに10月の緊急放出訓練に向けて、緊迫した中で日頃の訓練成果を十分に発揮できた訓練であった。

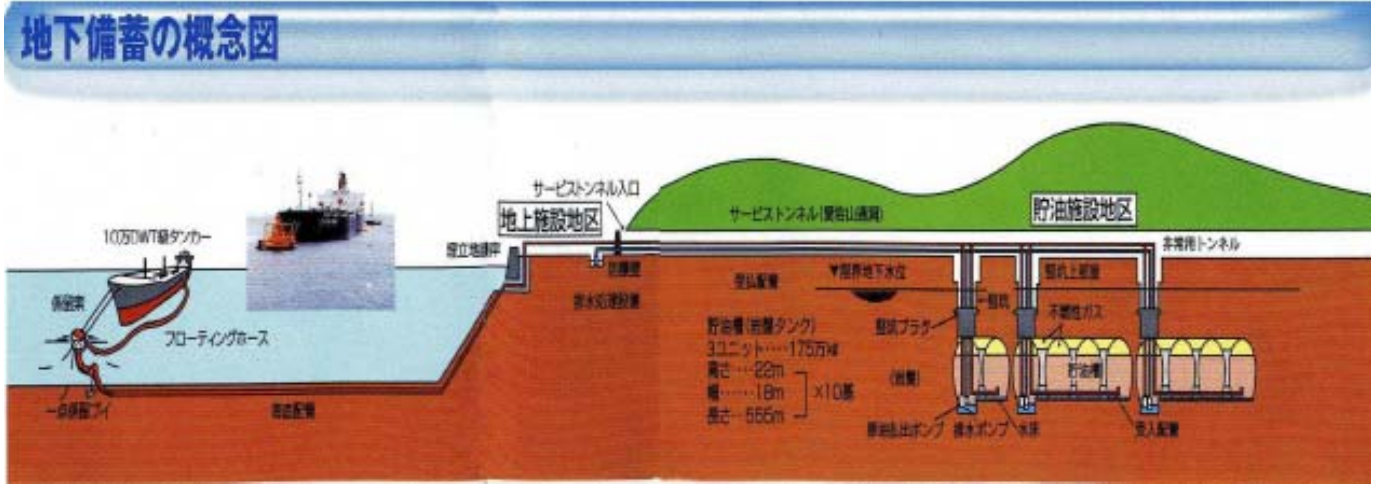


【一斉放水】



【防災ヘリでの救急搬送】

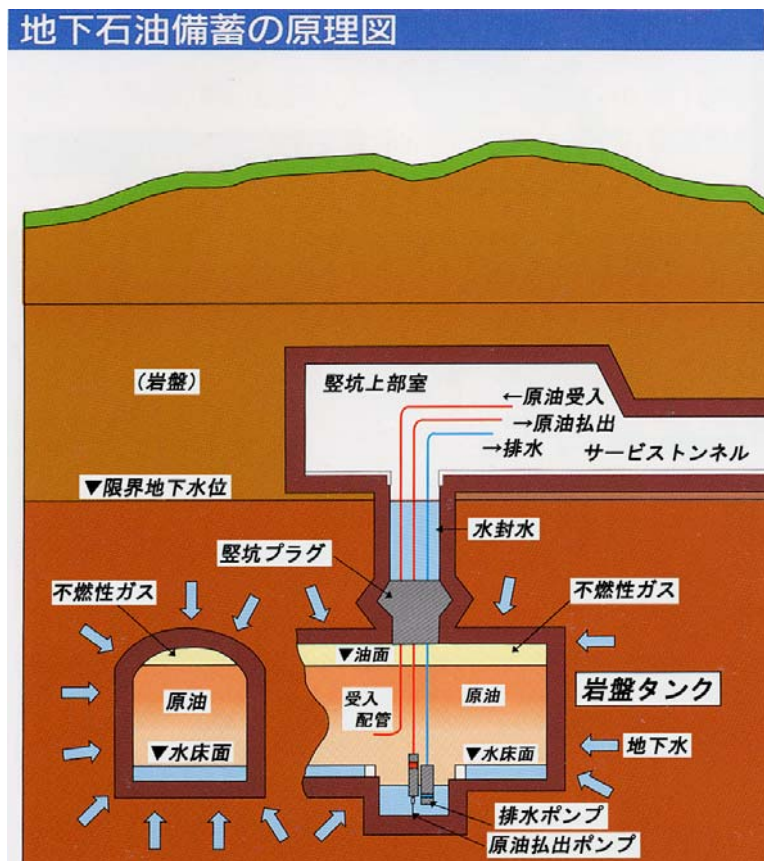
【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、地下水水面下の岩盤内に空洞を掘ってそこに原油を貯蔵する方式です。自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水を供給して空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、漏油、漏気を防止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に原油を貯めます。岩盤タンクにしみ出た地下水は、底水排水槽から排水ポンプにより排出されます。

地下石油備蓄の原理図



13 消防協力団体の結成状況（H20. 4. 1現在）

(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年 5月 1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	内 屋 照 男	いちき串木野市消防長
委員（監事）	岡 田 正 治	いちき串木野市消防団長
委 員	中 村 孝 子	須賀婦人消防協力隊隊長
〃	塩 屋 か よ 子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	塩 屋 ス ミ 子	土川地区婦人防火クラブ会長
〃	牧 田 京 子	羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 勲	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 恒 夫	願船寺保育園幼年消防クラブ会長
〃	武 田 泰 丸	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
事 務 局	原 菌 照 明	いちき串木野市消防本部 予防主幹

(2) 幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ	昭和60年5月20日	131名
会 長 牧田京子	副会長 小松春美	
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和62年5月23日	53名
会 長 武田泰丸	副会長 迫 博文	
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成2年7月16日	127名
会 長 神村 勲	副会長 橋口富美子	
願船寺保育園幼年消防クラブ	平成6年2月19日	90名
会 長 井上恒夫	副会長 山下エミ子	

(3) 婦人防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
須賀婦人消防協力隊	昭和30年11月29日	25名
隊 長 中村孝子	副隊長 長友タエ子	
照島地区婦人防火クラブ	昭和52年7月23日	1,185名
会 長 塩屋かよ子	副会長 萩内綾子	
土川地区婦人防火クラブ	昭和58年9月10日	30名
会 長 塩屋スミ子	副会長 安藤時子	

(4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関する事。
- キ 会員の弔慰見舞に関する事。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成 18 年 5 月 24 日	1 2 4
(H20.5 現在) 会 長 播磨 誠 副会長 溜池一孝・吉尾逸平		

(5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関する事。
- イ 消防思想の普及宣伝に関する事。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関する事。
- エ 危険物取扱者の研修に関する事。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関する事。
- カ 会員の弔慰に関する事。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成 18 年 5 月 26 日	9 7
(H20.5 現在) 会 長 上夷慶克 副会長 寺田洋孝・藤田 誠・田崎 梓		

IV 火災・救急・救助

火災件数	24件
損害額	18,921千円
死者	1人
負傷者	3人
救急件数	1,218件
搬送人員	1,175人
救助件数	13件
救助人員	12人

1 平成19年中の火災発生状況

火災番号	月日	発生場所	種別	原因	初期消火の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林野その他 焼損面積	損害額	死者	負傷者
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床面積 ㎡	表面積 ㎡				
						世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員						
1	1.3 9:04	長崎町	建物	こんろ	有														
2	2.4 18:00	本浜町	建物	こんろ	有														
3	2.11 14:35	大里 (駅前)	その他	たばこ(推定)	有									732㎡					
4	3.18 12:50	大里 (堀)	その他	たき火	無									181㎡					
5	3.22 9:15	上名 (中井原)	建物	不明・調査中	無					1			41			263			
6	4.13 13:55	小瀬町	林野	不明・調査中	有									0a					
7	5.10 15:55	川上 (安茶)	その他	たき火	有									260㎡					
8	5.12 10:50	大里 (駅前)	その他	たき火	有									328㎡					
9	5.24 11:00	下名 (上海瀬)	その他	たき火	有									183㎡					
10	6.8 16:55	湊町 (牛之江)	その他	たき火	無									406㎡					
11	6.10 10:15	湊町 (迫)	その他	たき火	有									234㎡					
12	6.10 10:35	上名 (鎗楠)	その他	たき火	有									621㎡					
13	7.23 17:10	下名 (平江)	その他	たき火	無									960㎡					
14	8.8 13:10	下名(野元) 保安林	林野	放火 (放火自殺)	無									3a			1		
15	8不明 不明	大里 (平佐原)	建物	不明・調査中	無						1					1			
16	8.29 9:45	上名 (麓)	その他	たき火	無									55㎡					
17	9.2 15:35	西薩町	その他	たき火	有						1					55			
18	9.9 14:50	上名 (鎗楠)	林野	たき火	有									1a					
19	9.20 15:25	上名 (日出町)	その他	たき火	有														
20	9.24 14:30	大里 (佐保井)	その他	たき火	無														
21	10.30 14:00	上名 (上石野)	林野	火入れ	無									1a					
22	12.5 17:50	下名 (芹ヶ野)	建物	配線器具	無	2							187			15,311			
23	12.10 9:20	下名 (薩摩山)	車両	その他	有											21		1	
24	12.28 19:40	湊町 (湯小路)	建物	たばこ	有	1		1			3		100			3,270		2	
合計	建物: 6件		船舶: 1件		合計: 24件	3棟	1棟	1棟	7棟	328㎡	0㎡	林野 5a	千円	名	名				
	林野: 4件		その他: 13件			2	4		5							16	3960㎡	18,921	1

※ ()は、爆発による件数等の再掲を示す。

2 火災統計

(1) 平成19年中の火災状況 (いちき串木野市・鹿児島県・全国)

区 分	いちき串木野市	鹿児島県 (概数)	全 国 (概数)
火 災 件 数	24	1,102	54,579
建 物	6	563	31,246
林 野	4	57	2,156
車 両	1	88	5,799
船 舶		6	123
航 空 機		1	6
そ の 他	13	387	15,249
焼 損 棟 数	12	835	43,181
建 物 焼 損 床 面 積 (m ²)	328	36,291	1,390,379
建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)	0	2,348	154,572
林 野 焼 損 面 積 (a)	5	907	71,718
り 災 世 帯 数	7	524	28,630
り 災 人 員	20	1,209	71,550
死 者	1	27	2,001
負 傷 者	3	97	8,471
損 害 額 (千 円)	18,921	2,808,944	125,440,111
建 物	18,845	2,305,192	
林 野		1,892	
車 両	21	37,293	
船 舶		5,021	
航 空 機		440,000	
そ の 他	55	19,138	
爆 発		408	

(2) 過去5年間の年別火災概要

年	火災件数					焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数			り 災 人員	損害額 (千円)		
	建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物床面積 ² m	建物表面積 ² m	林野	死者	負傷者	全損	半損	小損			計	
平成15年	4	2	2		7	15			2	2	4	28	13	3	1	1		1	2	3	9	3,586
平成16年	9	1	1		8	19	1	3	2	2	8	181	8	27	1	1		3	1	4	13	26,209
平成17年	7	2	1		8	18	1	1		5	7	307		25	1	1	1		1	2	5	11,101
	1				5	6				1	1								1	1	7	579
平成18年	8	4	2		9	23		1	1	6	8	843	444		1				3	3	7	60,529
平成19年	6	4	1		13	24	3	1	1	7	12	328		5	1	3	2		5	7	20	18,921
合計	35	13	7	0	50	105	5	6	6	23	40	1,687	465	60	5	6	3	4	13	20	61	120,925

平成17年の下段は、市来地域分

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

年	区分	たばこ	こんろ	炉	焼却炉	ストーブ	電気機器	電気装置	電灯電話等配線	内燃機関	交通機関内配線	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中	計
平成15年		2	2				1			1			6					2		1	15
平成16年		1	2				1		1	1			5	1			3		2	2	19
平成17年		2	1	1				2					10				1	2	2	3	24
平成18年			1					1	2				10	1				1	5	2	23
平成19年		2	2						1				13			1	1		1	3	24
合計		7	8	1			2	3	4	1	1		44	2		1	5	5	10	11	105

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	年					計
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	
1	1	2	2	4	1	10
2	1	2		3	2	8
3	1	2	1	1	2	7
4	1		1	1	1	4
5	3	1	1		3	8
6		1	3	1	3	8
7		5	2	5	1	13
8		1	1		3	5
9	3	1	3	2	4	13
10	3	1	5	4	1	14
11		1	3	1		5
12	2	2	2	1	3	10
計	15	19	24	23	24	105

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	年					計
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	
日	2	3	5	2	7	19
月	4	3	7	6	3	23
火	5	10	2	3	1	21
水	1	2	2	1	4	10
木	1		1	4	4	10
金	1	1	3	3	3	11
土	1		4	4	1	10
不明					1	1
計	15	19	24	23	24	105

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

時刻 \ 年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	計
0 ~ 1	1			2		3
1 ~ 2			1			1
2 ~ 3						
3 ~ 4			2	1		3
4 ~ 5				1		1
5 ~ 6			1	2		3
6 ~ 7		1				1
7 ~ 8	1		1			2
8 ~ 9			2			2
9 ~ 10		1			4	5
10 ~ 11	1	2	1	1	3	8
11 ~ 12	2	2	4	3	1	12
12 ~ 13	1	1	3	2	1	8
13 ~ 14	2	2	1	1	2	8
14 ~ 15	1	1	2	4	4	12
15 ~ 16	1	4	1		3	9
16 ~ 17	2	1	2	2	1	8
17 ~ 18		1	1		2	4
18 ~ 19	1				1	2
19 ~ 20		1		4	1	6
20 ~ 21			1			1
21 ~ 22	1		1			2
22 ~ 23	1					1
23 ~ 24		2				2
不明					1	1
計	15	19	24	23	24	105

(7) 火災発生時の気象状況

(H 1 9 年 中)

気象状況		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
天 気	快晴			1										1
	晴		2	1	1	3	3	1	2	3	1		3	20
	曇	1								1				2
	雨													0
	雪													0
	不明								1					1
風 速 m/s	無風状態													0
	1～2	1	1											2
	2～3			1		1	2		1				3	8
	3～4			1			1				1			3
	4～5							1		1				2
	5～6				1	1				2				4
	6～7		1			1								2
	7～8													0
	8～9								1	1				2
	9～10													0
	不明								1					1
風 向	北	1		1									3	5
	北北東													0
	北東													0
	東北東													0
	東								1					1
	東南東					1				1				2
	南東													0
	南南東													0
	南				1				1					2
	南南西									1				1
	南西			1		1								2
	西南西													0
	西						1	1		2	1			5
	西北西		1											1
北西						1							1	
北北西		1			1	1							3	
不明								1					1	
湿 度 %	10～20													0
	20～30					1								1
	30～40			1		1								2
	40～50		1	1		1	2	1						6
	50～60		1						1	2	1		1	6
	60～70				1					1			1	3
	70～80	1					1		1					3
	80～90									1			1	2
	90～100													0
	不明								1					1

3 いちき串木野市における大火記録

出火年月日	用途	出火場所	焼損棟数 (棟)	焼損面積 (㎡) 林野：(a)	損害額 (千円)	出火原因	死傷者数 (人)
昭 29. 7. 12	学校	串木野高校	1	587	6,362	不明	
30. 2. 12	住宅	島平同時2箇所	21	820	5,322	不明	負傷 1
33. 6. 21	映画館	銀海映画劇場	8	872	8,798	フィルム引火	
34. 10. 21	工場	満菌製材所	10	564	6,116	不明	
39. 12. 4	〃	串木野造船所	7	1,752	25,401	不明	
41. 6. 16	住宅	羽島浜	135	7,321	143,293	電気アイロン	
41. 12. 4	店舗	ニュー東京テレビセンター	13	1,116	33,065	たばこ	
42. 3. 25	官公署	串木野市役所別館	9	396	6,578	不明	負傷 3
44. 2. 22	住宅	萩元	6	375	8,160	不明	死者 1
45. 2. 4	林野	西岳		505	1,502	たばこ	負傷 1
48. 11. 25	〃	萬福		300	3,500	不明	
49. 3. 2	〃	深田		450	1,619	マッチ	
61. 12. 4	住宅	土川	6	406	12,122	風呂・かまど	負傷 1
平 1. 3. 21	工場	岡下造船鉄工	2	699	51,181	不明	
18. 1. 28	〃	薩洲濱田屋伝兵衛	1	830	58,576	照明器具	

(いちき串木野市における大火基準：平成18年版より適用)

- 1 焼損棟数：全焼5棟以上（非住家等を含む。）
- 2 焼損面積：1棟500㎡以上・・・令別表に掲げる防火対象物の場合
- 3 焼損面積：300a以上・・・林野火災の場合
- 4 死者：2名以上発生した火災

(注) 市来地域については、昭和57年1月13日の日置地区消防組合発足以降の統計である。

4 救急業務統計

(1) 救急業務の沿革

- S43.2 救急車1台(ニッサン・セドリック)を購入し、救急業務を任意で開始
- S44.9 消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
- S44.12 市来町、東市来町と救急業務応援協定を締結 S57.9.30 破棄 (S57.10.日置地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S45.4 川内市と救急業務相互応援協定を締結 (S56.5.破棄)
- S45.5 薩摩郡里村、鹿島村、上甕村、下甕村、樋脇町と救急業務応援協定を締結
- S48.2 S57.3.31.破棄 (S56.4.川内地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S48.3 生命保険協会から救急車1台(ニッサン・シベリアン)の寄贈を受け救急車2台となる。
- S52.9 日本消防協会から救急車1台(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受く。
- S52.9 S43.2.購入の救急車(ニッサン・セドリック)を大隅曾於地区消防組合消防本部へ譲渡
- S56.2 日本自動車工業会から救急車1台(ニッサン・キャラバンハイルーフ)の寄贈を受く。
- S56.2 S48.3.生命保険協会からの寄贈車を廃車
- S56.5 川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.11.破棄)
- S57.10 日置地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.12.破棄)
- H元.2 救急車1台(トヨタ2000cc)を購入し、S52.9.日本消防協会からの寄贈車を廃車
- H2.1 コーアガス鹿児島(株)から救急車1台(トヨタ2000cc)の寄贈を受く。
- H2.3 S56.2.日本自動車工業会からの寄贈車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置替え。(H7.2.廃車)
- H9.4 救急救命士第1号誕生
- H10.4 救急救命士2名となる。
- H11.4 救急救命士3名となる。
- H12.3 串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
- H12.4 救急救命士4名となる。
- H12.11 高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック3300cc)及び高度救命処置用資器材を購入
- H13.1 高規格救急自動車等による高度救急業務を開始
- H13.2 救急車1台(H元.2)を廃車
- H13.4 救急救命士5名となる。
- H13.12 救急車1台(トヨタ3400cc)を購入し、H2.1.コーアガス鹿児島(株)からの寄贈車を廃車
- H14.4 救急救命士6名となる。
- H15.4 救急救命士7名となる。
- H16.4 救急救命士8名となる。
- H17.3 国土交通省鹿児島国道事務所等と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結
- H17.10 国分地区消防組合から救急車1台(トヨタ2400cc)を譲り受ける。
- H17.10 市来町との合併に伴い、現有救急車1台(トヨタ3400cc)をいちき分遣所に配置
- H17.11 薩摩川内市と「消防及び救急業務相互応援協定」を締結
- H17.12 鹿児島市消防局及び日置市消防本部との「南九州西回り自動車道における消防相互応援協定」を締結
- H17.12 日置市と「消防・救急業務相互応援協定」を締結
- H18.12 高規格救急自動車1台(ニッサン・パラメディック3500cc)を購入し、いちき分遣所に配置
- H18.12 H17.10国分地区消防組合(現霧島市消防局)から譲り受けた救急車を廃車

(2) 救急業務取扱状況

(H19年中)

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他	
出場件数		1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218
不搬送件数				1	6			9		4	36	1			4	61
搬送人員		2		3	109	12	14	124	1	11	555	316			28	1,175
性別	男	1		3	68	11	7	55	1	6	288	161			7	608
	女	1			41	1	7	69		5	267	155			21	567

(3) 傷病程度別搬送状況

(H19年中)

事故種別 傷病程度		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡				2				1			19	2	24
重症					8	2	1	28		2	97	139	277
中等症				1	35	8	7	46		6	267	169	539
軽症		2			66	2	6	49	1	3	172	34	335
その他													
計		2		3	109	12	14	124	1	11	555	344	1,175

(4) 診療科目別搬送状況 (H19年中)

診療科目	搬送人員
内科一般	66
循環器科	130
消化器科	104
呼吸器科	83
神経内科	26
小児科	28
新生物	28
外科一般	36
整形外科	208
形成外科	1
脳神経外科	277
脳卒中	198
頭部外傷	79
泌尿器科	25
皮膚科	4
熱傷	2
その他	2
産婦人科	7
耳鼻咽喉科	7
眼科	2
精神科	8
服毒・中毒	8
その他	127
合計	1,175

(5) 搬送別状況 (H19年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	453
依頼搬送	722
合計	1,175

(6) 覚知別出場状況 (H19年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	746
加入電話	440
一般	399
携帯	41
庁内電話	
駆け込み	13
消防無線	12
その他	7
合計	1,218

(7) 居住地別搬送状況 (H19年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	986
市外居住者	189
その他	
合計	1,175

(8) 救急救命処置実施状況 (H19年中)

救急救命処置	男	女
気道確保・除細動・輸液		
気道確保・除細動	1	1
気道確保・輸液	1	
除細動・輸液		
気道確保	3	6
除細動	1	1
輸液		1
合計	6	9

(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(H19年中)

月別	事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数				8			9			50	30			5	102	9
	人員				10			8			44	30			4	96	
2	件数				8			4		2	50	29			3	96	5
	人員				10			4		1	49	29			2	95	
3	件数				10		1	16			52	27			2	108	5
	人員				11		1	15			49	27			2	105	
4	件数				9	4	2	14		3	38	31			5	106	3
	人員				8	4	2	14		2	38	31			4	103	
5	件数				11		1	11		1	51	26			2	103	4
	人員				15		1	11		1	47	26			2	103	
6	件数				4	1	4	9			39	28			3	88	2
	人員				4	1	4	9			37	28			3	86	
7	件数			1	4	1	1	12	1	2	52	29			1	104	5
	人員			1	4	1	1	12	1	1	48	29			1	99	
8	件数			1	12		1	12		3	58	20			1	108	5
	人員			1	13		1	11		3	54	20			1	104	
9	件数			2	8	1	2	10		2	52	24			3	104	7
	人員			1	8	1	2	8		1	50	24			3	98	
10	件数				9	1		9		2	51	32			5	109	6
	人員				9	1		7		2	48	32			4	103	
11	件数				8	3		13			44	23			1	92	2
	人員				10	3		13			42	23			1	92	
12	件数	1			8	1	2	13			54	18			1	98	8
	人員	2			7	1	2	12			49	17			1	91	
合計	出場数	1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218	61
	搬送員	2		3	109	12	14	124	1	11	555	316			28	1,175	

(10) 曜日別救急出場状況

(H19年中)

曜日 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
日			1	13			21	1		94	17			4	151
月			1	13	4	1	21		2	88	50			6	186
火				10	1	2	13		2	94	51			4	177
水				16	3	3	19		5	71	53			8	178
木				11		1	21		4	67	42			3	149
金	1		2	18	1	3	13		1	85	45			2	171
土				18	3	4	24		1	92	59			5	206
合計	1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218

(11) 現場到着所要時間別出場件数

(H19年中)

現場到着 事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	129	256	141	63	2	591	4.7
交通事故	25	42	26	6		99	4.6
一般負傷	26	53	39	14		132	4.7
その他	70	195	116	14	1	396	4.2
合計	250	546	322	97	3	1,218	4.5

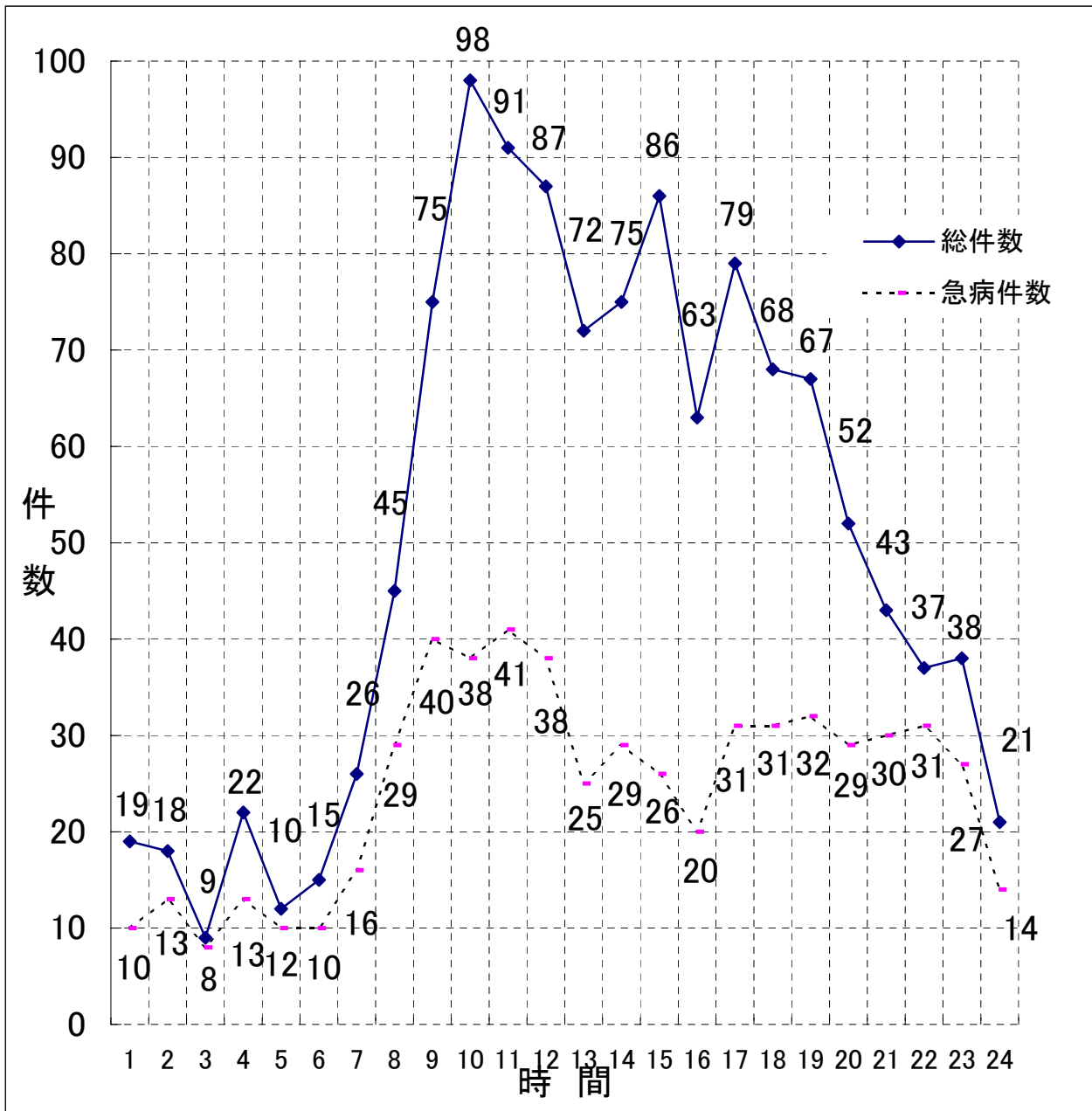
(12) 収容所要時間別搬送人員

(H19年中)

収容所要時間 事故種別	収容所要時間					計	収容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
急病	12	196	205	126	16	555	26.6
交通事故		52	23	29	5	109	25.9
一般負傷	3	51	46	19	5	124	24.2
その他	7	117	87	163	13	387	30.8
合計	22	416	361	337	39	1,175	27.2

(13) 時間別出場状況 (急病件数及び総件数)

(H19年中)

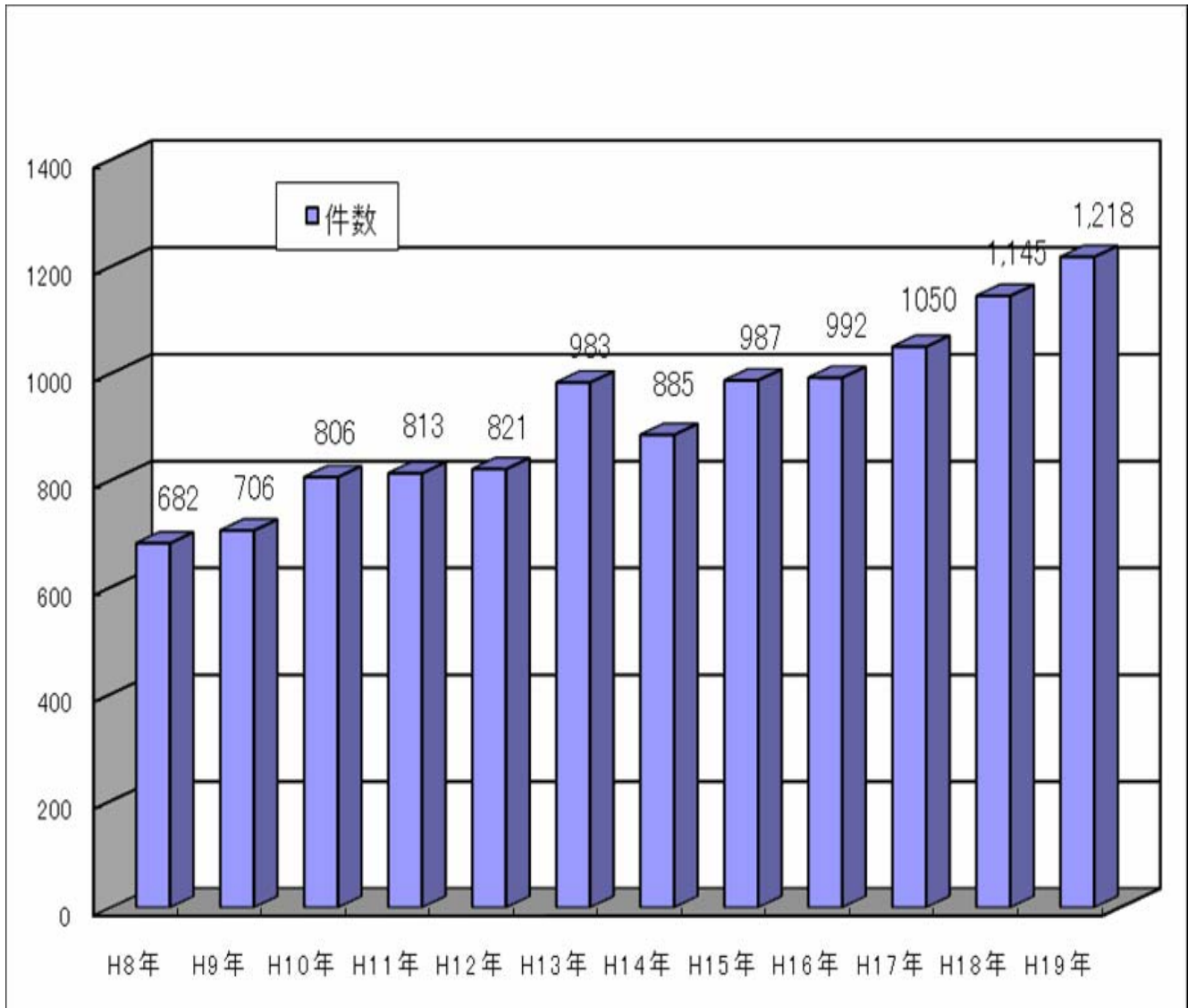


(14) 市別搬送状況 (搬送先)

(H19年中)

搬送先 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	858	127	114	73	3	1,175
比率 (%)	73	10.8	9.7	6.2	0.3	100

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

年別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成15年		2			80	12	13	92	3	9	440	277	1	1	57	987
平成16年			1	3	55	17	8	110	3	12	388	336	1		58	992
平成17年		1		1	69	5	5	105	4	15	460	307			33	1,005
					8	2		8		1	591	5		45		
平成18年				5	92	8	7	121	3	7	559	305			38	1,145
平成19年		1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218

平成17年の下段は、市来地域分

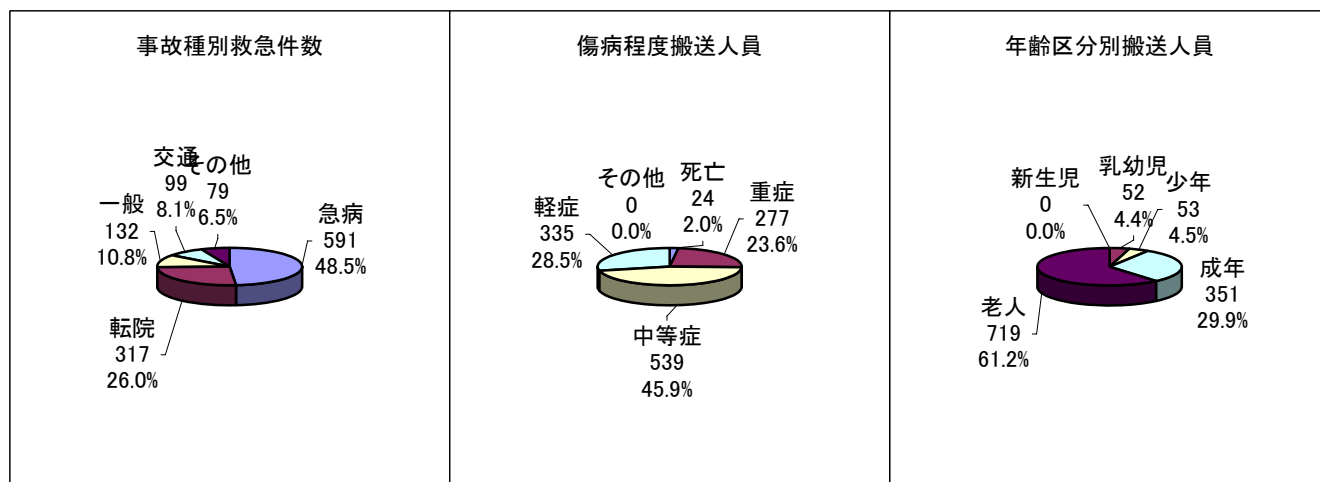
(17) 年齢別搬送人員状況

(H19年中)

年齢別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9				1	11		2	10			38	4				66
10～19					20		8	2		2	20	4				56
20～29					14	3		3		1	21	8				50
30～39					13	2	2	4			19	9				49
40～49					10	2	1	3		3	28	14				61
50～59					8	3		14	1	4	65	18				113
60～69		2			11	2	1	18			78	37			1	150
70～79				1	14			34			126	98			7	280
80～89				1	8			29		1	114	95			13	261
90～								7			46	29			7	89
計		2	0	3	109	12	14	124	1	11	555	316	0	0	28	1,175

(18) 各比率

(H19年中)



※ 救急出場件数 1,218件
 ※ 搬送人員 1,175人

※ 年齢区分
 新生児 (生後28日以内)
 乳幼児 (29日以上7歳未)
 少年 (7歳以上18歳未)
 成人 (18歳以上65歳満)
 老人 (65歳以上)

5 救助業務統計

(1) 救助出動状況

(H19年中)

	月日	事故種別	災害発生場所	出動車両	出動人員	活動車両	活動人員	救助人員
1	2/14	交通事故	大里木場迫 国道上	4	10			
2	3/3	交通事故	東塩田町 国道上	3	7			
3	5/6	交通事故	北浜町 新港大橋	7	18	7	18	5
4	5/17	交通事故	塩屋町 市道上	3	7	3	7	1
5	7/6	交通事故	昭和通 市道上	3	8	3	8	1
6	7/27	水難	羽島猪之鼻	4	10			
7	8/1	その他	川上 自宅庭車両内	1	3	1	3	1
8	8/9	その他	芹ヶ野 自宅敷地内井戸	3	7	3	7	1
9	8/17	交通事故	浜ヶ城 国道上	2	6	2	6	1
10	9/17	水難	大里 戸崎漁港内	3	7	3	7	1
11	9/28	水難	大里 戸崎漁港西側	3	8			
12	11/16	交通事故	羽島下山 県道上	2	6	2	6	1
13	11/24	交通事故	大里池之原 市道上	4	11			
合 計				42	108	24	62	12

(2) 過去5年間の救助出動状況

区分		年				
		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
出動件数		8	11	14	9	13
活動件数		5	11	9	4	8
救助人員		4	12	11	4	12
事故種別	火災	1				
	交通事故	4	7	11	7	8
	水難事故		1	2		3
	自然災害					
	機械		1		1	
	建物		1			
	ガス・酸欠					
	爆発					
その他		3	1	1	1	2

6 応援協定等の締結状況

(H20.4.1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H6.8.19 一部改正
S59.4.1	指宿地区消防組合	消防無線使用時の混信に関する協定
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定

V 機 械 ・ 水 利

消 防 車 両	消防本部（署）・・・・・・・・・・	14 台
	消防団・・・・・・・・・・	19 台
消 火 栓	・・・・・・・・・・・・・・・・	5 3 2 基
防 火 水 槽	・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9 2 基
消 防 無 線	基 地 局・・・・・・・・・・	2 基
	固 定 局・・・・・・・・・・	2 基
	陸上移動局（車載）・・・・・・・・	3 2 基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・・・	4 0 基

1 基準消防力と現有消防力との比較

(1) 消防本部 (署)

(H20. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	82	48	58.5	▲ 34
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	1	1	100	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

(2) 消防団

(H20. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分		基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	8 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	112.5	1 口
			小型動力ポンプ 3 台 3 口		
準市街地	動力消防ポンプ	20 口	消防ポンプ車 5 台 10 口	80	▲ 4 口
			小型動力ポンプ 6 台 6 口		
その他	動力消防ポンプ	13 口	消防ポンプ車 4 台 8 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 5 台 5 口		
人 員		548 人	283 人	51.6	▲ 265 人

(3) 消防職・団員と市民との割合

(H20. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 (1 人 当 り)	消 防 団 員 (1 人 当 り)
世 帯 (13,468)	280.6	47.6
人 口 (31,784)	662.2	112.3

2 消防機械器具及び水利状況

(1) 消防署の消防車両状況

(H20.4.1現在)

種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登録年月日	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	三 菱	あかつき号	鹿児島88 ゆ 1046	H3.9.19	A-2日機 2,320	7,540	6	8,990	672	230	278	ディーゼル車
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	いちきタンク車	鹿児島88 す 4843	H6.7.15	A-1吉谷	7,410	6	7,940	683	222	270	ディーゼル車 寄贈車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	いなずま号	鹿児島88 す 7312	H8.12.26	A-2日本造機 2,310	4,560	6	4,140	529	188	241	ディーゼル車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	H19.3.23	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島88 ゆ 754	H2.10.16		7,410	6	12,660	995	249	340	ディーゼル車
化学消防自動車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	H4.12.18	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救 助 工 作 車	ニッサン ディーゼル	火災保険号	鹿児島88 ゆ 2150	H8.7.29		6,920	6	8,080	758	225	305	ディーゼル車 寄贈車
指 揮 広 報 車	ニッサン	さ の さ 号	鹿児島88 に 3465	H9.10.28		1,990	8	1,980	435	169	199	ガソリン車 寄贈車
高規格救急車	ニッサン	救急1号車	鹿児島800 さ 2323	H12.11.16		3,270	7	3,325	572	190	248	ガソリン車 石油交付金事業
救 急 車	トヨタ	救急2号車	鹿児島800 さ 3794	H13.12.6		3,370	7	2,705	544	180	242	ガソリン車
高規格救急車	ニッサン	救急いちき1号車	鹿児島800 さ 9643	H18.12.14		3,490	7	3,275	575	190	246	ガソリン車 石油交付金事業
軽 積 載 車	スバル	連 絡 車	鹿児島41 ゆ 8772	H10.8.27		650	2	970	329	139	151	ガソリン車 防災用交付車両
運 搬 車	ホ ン ダ	運 搬 車	鹿児島80 あ 1331	H13.3.29		650	2	1,440	339	147	193	ガソリン車 (県)貸与品原子力 防災資機材
軽 積 載 車	三 菱	いちきミニ車	鹿児島80 あ 1277	H12.9.13	B-3小型動力 ポンプを積載	650	2	1150	339	147	197	ガソリン車

2 消防機械器具及び水利状況

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況 ア 串木野地域

(H20. 4. 1現在)

分団名	種別	車種	車名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能 (0/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
団本部	指揮連絡車	トヨタ	団本部車	鹿児島88す6457	H8.3.18		2,180	8	2,060	469	169	210	ディーゼル車
中央	消防ポンプ自動車	日野	たつまき号	鹿児島800さ8954	H18.3.20	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	いすゞ	すいせい号	鹿児島88す3250	H4.8.26		2,490	8	2,540	445	172	250	ディーゼル車 防災用交付車両
	小型動力ポンプ				H19.11.30	B-3 トーハツ 1,130	526						石油交付金事業
本浦	消防ポンプ自動車	三菱	あさかぜ号	鹿児島88す3357	H4.10.13	A-2 日機 2,310	4,210	10	4,070	522	189	245	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
照島	消防ポンプ自動車	日野	照月号	鹿児島800さ8956	H18.3.20	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	くろせ号	鹿児島88す5286	H6.12.16		1,990	9	2,665	499	167	250	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消防ポンプ自動車	三菱	さちかぜ号	鹿児島88す2885	H4.3.17	A-2 日機 2,300	4,210	10	4,140	525	189	250	ディーゼル車
	小型動力ポンプ積載車	三菱	積載車	鹿児島800さ2254	H12.10.25		1,990	9	2,735	499	169	242	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H12.10.25	B-3 トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	あこう号	鹿児島800す745	H20.2.20		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H20.2.20	B-3 トーハツ 1,130	526						石油交付金事業
荒川	消防ポンプ自動車	ニッサン	荒星号	鹿児島88す1838	H2.10.26	A-2 日機 2,310	4,160	7	3,385	538	181	220	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業
旭	消防ポンプ自動車	ニッサン	こがね号	鹿児島88す567	S63.11.30	A-2 日機 2,340	4,160	7	3,455	542	180	221	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業
生福	消防ポンプ自動車	三菱	生龍号	鹿児島88す7166	H8.11.22	A-2 日機 2,370	4,560	10	4,220	524	189	241	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(ラビット) 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	消防ポンプ自動車	ニッサン	やまびこ号	鹿児島88す1090	H元.9.27	A-2 日機 2,340	4,160	7	3,455	536	181	234	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シハウラ) 1,440	618						石油交付金事業

イ 市来地域

(H20. 4. 1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島88 す 8413	H 9. 11. 28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17. 3. 3	B-3(トハツ) 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿 児 島 800 す 779	H20. 2. 28	A-2 GMVいちほら	4,000	10	4,560	572	188	256	石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15. 10. 10	B-3(トハツ) 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	いすゞ	海 竜	鹿児島88 す 8414	H 9. 11. 28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17. 3. 3	B-3(トハツ) 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	いすゞ	昇 竜	鹿児島88 さ 6498	S62. 11. 30	A-2 森田	3,630	8	3,860	510	188	250	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H15. 10. 10	B-3(トハツ) 1,440	617						石油交付金事業
市来支所	連 絡 車	トヨタ		鹿児島88 に 2766	H 7. 12. 21		1,990	5	1,755	464	169	169	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ 積 載 車	トヨタ	やまびこ	鹿児島88 す 4133	H 5. 10. 5		2,440	8	2,880	474	169	244	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H10. 12. 14	B-3(ラビット) 1,440	635						

(3) 署・各分団ポンプ及びホースの保有状況

(H20.4.1現在)

署・団	ポンプ台数		ホース本数			
	ポンプ車	小型ポンプ	40mm	50mm	65mm	小計
消防署	3		19	71	76	166
分遣所	1	1	6	27	49	82
団本部					13	13
中央	1	1	2	19	59	80
本浦	1	1	2	24	47	73
照島	1		2	26	63	91
照島 (別府班)		1				
羽島	1	1	2	17	65	84
羽島 (土川班)		1				
荒川	1	1	2	18	52	72
旭	1	1	2	30	49	81
生福	1	1	2	23	45	70
冠岳	1	1	2	17	45	64
湊	1	1	0	0	60	60
川南	1	1	0	0	60	60
川北	1	1	0	0	60	60
川上	1	1	0	0	58	58
市来支所		1	0	0	51	51
合計	16	15	41	272	852	1165

(4) 消防資機材の保有状況

(H20. 4. 1 現在)

種別	車両等別								種別	車両等別									
	化学車	はしご車	救助工作車	あかつき号	いなずま号	銀河号	資材庫他	いちき分遣所		合計	化学車	はしご車	救助工作車	あかつき号	いなずま号	銀河号	資材庫他	いちき分遣所	合計
かぎ付はしご		1	1				2	1	5	送排風機			1					1	
三連はしご(二連)			1	1	(1)	(1)	2(1)	1	5(3)	ジェットシューター				3			5	8	
金属製折畳みはしご			1					1	2	造林がま				5	4	3	2	14	
空気式救助マット			1				1		2	帯電衣(上・下)		2						2	
救命索発射銃			1				1		2	帯電長靴		2					2	4	
サバイバースリング			1						1	帯電ヘルメット		2						2	
救助用縛帯		2	2					1	5	緩降機							1	1	
平担架							4		4	車載固定型発電機			1					1	
ポートパワー			1				1		2	車載伸縮式照明装置			1					1	
可搬式ウインチ			1				2	1	4	車載固定型ウインチ			1					1	
エンジンカッター		1	1	1				1	4	発電機	1	1	1	1			3	2	9
ガス溶断器			1						1	投光器	1	2	1	1			1	2	8
チェーンソー			1				10	2	13	掛矢			1	1	3	1	3	1	10
鉄線カッター		1	1	1	1			1	5	斧	1	1			1		4	1	8
万能斧(ベンケイ)			2				2	1	5	スコップ	1	1	2	3	2	2	12	9	32
ハンマー	1	1	1				1	1	5	分岐金具(65×65)	1	1		2	1	1		2	8
可燃性ガス・酸素測定器			2					1	3	分岐金具(65×40)				1	1				2
空気呼吸器	2	4	4	4			3	5	22	放水銃				1				1	2
帯電手袋		2	3				2	1	8	プロジェクトガン(40m/用)				2	3			1	6
安全帯		3	9					2	14	ロータリーノズル				1				1	2
耐熱服	4								4	ピックアップノズル(2000型)				2		1	1	2	6
潜水器具一式			2				4		6	エアフォームノズル(4000型)	4								4
救命胴衣			9				11	3	23	泡放水銃(8000型)	2								2
救命浮環			5				3	2	10	ラインプロポーションナー				2				1	3
ゴムボート									0	ノズル付高圧ホース(30m)	2								2
バスケット担架			2					1	3	東消式簡易発泡器				2				1	3
携帯拡声器		1	1	1			10	2	15	ウォーターチャージャー				1					1
マット型空気ジャッキ式			1						1	ABC粉末(20型)消火器	2		1	2	1	1		2	9
大型油圧スプレッダー			1					1	2	防水シート	1	1	1	3	2	1	66	2	77
大型油圧切断機			1					1	2	オイルフェンス(A型)140m							1		1
鉄筋カッター(コードレス)			1						1	水中無線機			2						2
空気鋸			1					1	2	防毒マスク			3				3		6
ハンマードリル			1						1	なた			1	1	3		3	2	10

(5) 消火薬剤等の保有状況

(H20. 4. 1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）	940 ℓ	
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）	2,440 ℓ	
油 吸 着 ・ 吸 収 材 等	吸 着 マ ッ ト	72 kg
	吸 着 材	12 kg
	吸 収 材	17 kg
流出油処理剤	108 ℓ	
オイルフェンス（SO-200E）	140 m	

(6) 原子力防災資機材の保有状況

(H20. 4. 1 現在)

空気呼吸器（予備ボンベ付）	17 基	
ポケット線量計	アラーム機能なし	20 個
	アラーム機能あり	52 個
防 護 マ ス ク	275 個（フィルター472個）	
防 護 服	アノラック型	250 着
	タイベック型	250 着
防 護 靴	オーバーシューズ	230 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	250 双
	綿 製	250 双
携 帯 用 拡 声 器	5 基	
消防用無線機	車載型 10W	9 基
	携帯型 5W	6 基
ト ラ ン シ ー バ ー	4 基	
サーベイメータ（ポケット型含む。）	6 基	
夜間災害用発電機一式	5 組	
資機材運搬用車両	1 台	
パ ソ コ ン	2 台	
レ ー ザ ー プ リ ン タ ー	1 台	
脚付き両開きボード	1 台	
マルチプロジェクタ	1 台	
エ ア ー テ ン ト	1 式	
化 学 防 護 服	4 着	
衛 星 携 帯 電 話	1 基	
簡易放送用設備	1 式	
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）	6 基	

(7) 消防水利の状況 (消防水利の基準に適合しないものも含む。)

ア 串木野地域

(H20. 4. 1現在)

水利の別	地区別 配管及び水量	中	本	照	羽	荒	旭	生	冠	合
		央	浦	島	島	川		福	岳	計
消 火 栓 (公 設)	350mm	1		1						2
	300mm	7		2						9
	250mm	7	1	1						9
	200mm	8	9	4	1				4	26
	150mm	38	18	20	8	4		5	3	96
	100mm	55	9	21	11	3	4	16	2	121
	75mm	24	7	13	18	5	11	5	3	86
小 計 A		140	44	62	38	12	15	26	12	349
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上	14	4	16	7	6	3	9	5	64
	30m ³ 以上 40m ³ 未満	44	6	18	17	6	10	14	6	121
	20m ³ 以上 30m ³ 未満	2	1	3	1		2		3	12
	20m ³ 未満	5	1		2					8
	(私 設)	40m ³ 以上	1		2					3
	小 計 B		66	12	39	27	12	15	23	14
プール	40 m ³ 以上	3	1	3	2	1	1	1	1	13
河 川	常時取水可能	7	1	3	2	3	1	4	2	23
海 水	常時取水可能		4	1	1					6
小 計 C		10	6	7	5	4	2	5	3	42
総 計 A+B+C		216	62	108	70	28	32	54	29	599

イ 市来地域

(H20. 4. 1現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	湊	川 南	川 北	川 上	合 計
消 火 栓 (公 設)	200mm	12	0	0	0	12	
	150mm	6	4	5	0	15	
	125mm	1	0	0	0	1	
	100mm	21	16	20	10	67	
	75mm	18	14	11	15	58	
	65mm以下	3	6	12	9	30	
小 計 A		61	40	48	34	183	
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上	21	15	19	21	76	
	30m ³ 以上	1	1	1	0	3	
	40m ³ 未満						
	20m ³ 以上	0	0	5	0	5	
	30m ³ 未満						
(私 設)	40m ³ 以上						
小 計 B		22	16	25	21	84	
プー ル	40 m ³ 以 上	2	2		1	5	
河 川	常時取水可能	5		3	2	10	
海 水	常時取水可能						
小 計 C		7	2	3	3	15	
総 計 A+B+C		90	58	76	58	282	

(8) 消防無線の状況

ア 消防本部

(H20. 4. 1 現在)

局別	数	形式	電力	周波数	呼称	設置場所	購入年月	経過年数	会社名	再免年月	備考		
基地局	2		10W	① 市波 149.15MHz	消串	消防本部	H6. 7	13年	日本無線	H23. 5			
				② 県波 148.21MHz									
固定局	2		1W	① 市波	消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H8. 1	12年	日本無線	H23. 5			
移動局 (車載)	15	F3	2W	○ 中継波 365.15MHz	消串本部	消防本部	H8. 1	12年	日本無線	H24. 11			
					消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H8. 1	12年	日本無線	H24. 11			
				① 市波	消串6	化学車	H6. 12	13年	日本無線	H23. 5			
				② 県波	消串9	積載車	H元. 2	19年	日本無線	H23. 5			
				① 市波 ② 県波	消串1	あかつき号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材		
					消串2	いなづま号	H11. 2	9年	日本無線	H23. 5			
					消串3	銀河号	H11. 11	8年	日本無線	H23. 5			
				① 市波 ② 県波	消串4	さのさ号	H8. 3	12年	日本無線	H23. 5			
					③ 全国波1 150.73MHz	消串5	はしご車	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5		
				④ 防災波 158.35MHz	消串7	火災保険号	H11. 11	8年	日本無線	H23. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材		
					消串8	連絡車	H11. 11	8年	日本無線	H23. 5			
							救串2	救急2号車	H8. 3	12年	日本無線	H23. 5	
				①市波 ②県波	消串10	運搬車	H14. 3	6年	NEC	H23. 5			
					③全国波1、2、3 ④防災波	救串1	救急1号車	H12. 11	7年	日本無線	H23. 5		
				①市波 ②県波	消い1	いちき タンク車	H6. 7	13年	ゼネラル通信 システム	H22. 5			
③全国波1、2、3	消い2	いちき ミニ車	H12. 10		7年	ゼネラル通信 システム	H22. 5						
			救い1	いちき 救急車	H18. 12	1年	日本無線	H23. 5					
移動局 (携帯)	22	F3	5W	① 市波 ② 県波	消串12	いなづま号	H8. 10	11年	日本無線	H23. 5			
				① 市波	消串11	あかつき号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串13	銀河号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串14	さのさ号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串15	はしご車	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串16	化学車	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串17	火災保険号	H18. 2	2年	スタンダード	H23. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材		
				消串18	通信室	H18. 2	2年	スタンダード	H23. 5				
				② 県波	消串19	通信室	H18. 2	2年	スタンダード	H23. 5			
					消串20	通信室	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
				③ 全国波1	消串21	通信室	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串22	通信室	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
				④ 防災波	消串23	救急1号車	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串24	救急2号車	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串25	通信室	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5			
					消串26	通信室	H18. 2	2年	スタンダード	H23. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材		
					消串27	通信室	H17. 1	3年	アイコム	H23. 5			
消串28	通信室	H17. 1	3年	アイコム	H23. 5								
消串29	分遣所	H17. 12	2年	アイコム	H23. 5								
消串30	分遣所	H17. 12	2年	アイコム	H23. 5								
消串31	分遣所	H17. 12	2年	アイコム	H23. 5								
消串32	分遣所	H17. 12	2年	アイコム	H23. 5								

イ 消防団

(H20. 4. 1現在)

局別	数	形式	電力	周波数	呼称	設置場所	購入年月	経過年数	会社名	再免年月	備考				
移動局 (車載)	17	F3	10W	①市波 ②県波	消中3	中央分団 すいせい号	H9. 3	11年	日本無線	H23. 5					
					消照3	照島分団 くるせ号	H10. 2	10年	日本無線	H23. 5					
					消羽1	羽島分団 さちかぜ号	H10. 2	10年	日本無線	H23. 5					
					消土1	羽島分団 あこう号	H8. 1	12年	日本無線	H23. 5					
				①県波 ②市波 ③全国波 (1・2・3波)	消中1	中央分団 たつまき号	H18. 3	2年	ゼネラル通信 システム	H23. 5					
					消照1	照島分団 照月号	H18. 3	2年	ゼネラル通信 システム	H23. 5					
				①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3波) ④防災波	消団1	団本部車	H14. 3	6年	NEC	H23. 5	貸与品(県) 原子力防災 資器材				
					消旭1	旭分団 こがね号	H14. 3	6年	NEC	H23. 5					
					消湊1	湊分団 飛竜	H17. 10	2年	日本無線	H23. 5					
					消川南1	川南分団 蒼竜	H17. 10	2年	日本無線	H23. 5					
					消川北1	川北分団 海竜	H17. 10	2年	日本無線	H23. 5					
					消川上1	川上分団 昇竜	H17. 10	2年	日本無線	H23. 5					
					消市来支所1	市来支所分団 やまびこ	H17. 10	2年	日本無線	H23. 5					
				①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消本1	本浦分団 あさかぜ号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5					
					消荒1	荒川分団 荒星号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5					
					消生1	生福分団 生龍号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5					
					消冠1	冠岳分団 やまびこ号	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5					
				移動局 (携帯)	18	5W	①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消団2	団本部	H16. 6	3年	アイコム	H23. 5		
								消団3	団本部	H16. 6	3年	アイコム	H23. 5		
								消羽2	羽島分団	H19. 2	1年	アイコム	H23. 5		
消荒2	荒川分団	H19. 2	1年					アイコム	H23. 5						
消旭2	旭分団	H19. 2	1年					アイコム	H23. 5						
消生2	生福分団	H19. 2	1年					アイコム	H23. 5						
消冠2	冠岳分団	H19. 2	1年					アイコム	H23. 5						
①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3波) ④防災波	消団4	団本部	H14. 6				5年	モトローラ	H23. 5						
	消団5	団本部	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消団6	団本部	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消中2	中央分団	H14. 6				5年	モトローラ	H23. 5						
	消本2	本浦分団	H14. 6				5年	モトローラ	H23. 5						
	消照2	照島分団	H14. 6				5年	モトローラ	H23. 5						
	消湊2	湊分団	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消川南2	川南分団	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消川北2	川北分団	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消川上2	川上分団	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	消市来支所2	市来支所分団	H17. 10				2年	日本無線	H23. 5						
	種別	火災救急その他													
	通信回数	607 6,987 14,886 22,480													

VI 気 象

年平均気温	18.8℃
-------	-------	-------

年間降水量	1,494.5mm
-------	-------	-----------

年平均風速	2.9m/s
-------	-------	--------

1 気象観測の状況

(H19年中) 【観測所：消防署】

月 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
快晴日数	1	4	3	8	4	2	2	2			6		32	
晴天日数	8	12	15	9	19	9	12	23	21	25	12	14	179	
曇天日数	19	8	9	11	4	14	12	4	9	6	10	15	121	
雨天日数	3	4	4	2	4	5	5	2			2	2	33	
雪日数													0	
降水日数	13	11	12	10	7	15	12	5	7	1	2	11	106	
降水量	59.0	79.5	96.0	137.5	167.0	257.0	354.5	84.0	50.5	13.5	66.5	129.5	1494.5	
最大 日降水量	12.0	27.0	39.0	50.5	67.5	81.5	115.0	39.0	22.5	13.5	48.5	33.5	最大/日 115.0	
風 速	平均	2.9	2.9	3.4	3.0	3.0	2.9	3.2	3.1	2.7	2.5	2.4	3.3	年平均 2.9
	瞬間最大	26.5	25.5	19.6	26.5	18.6	20.7	26.8	32.0	16.8	17.2	18.3	24.9	最大/年 32.0
気 温	平均	9.2	11.1	12.7	15.6	19.7	23.9	26.7	28.8	27.5	22.6	15.4	11.8	年平均 18.8
	最高	18.2	20.7	23.2	24.4	30.1	29.8	33.9	34.7	34.1	30.8	25.2	20.4	最高/年 34.7
	最低	1.3	-1.7	3.0	5.4	11.2	17.2	20.8	23.7	20.9	8.8	4.8	2.1	最低/年 -1.7
相 対 湿 度	平均	65.8	68.7	62.7	64.8	70.9	80.0	83.9	76.8	74.4	66.9	62.2	63.9	年平均 70.1
	最高	95.7	95.7	94.0	95.0	95.9	97.1	97.7	96.0	94.9	94.6	94.1	95.7	最高/年 95.9
	最低	25.3	30.7	12.1	23.8	20.8	38.3	34.5	47.5	41.0	29.9	23.8	23.9	最低/年 12.1
実 効 湿 度	平均	64.1	67.5	61.1	63.1	70.5	77.8	83.7	76.6	73.9	66.8	62.3	63.0	年平均 69.2
	最高	78.0	81.3	75.2	79.8	86.3	91.5	93.2	84.5	82.0	82.8	80.4	79.7	最高/年 93.2
	最低	47.4	44.4	46.9	43.6	53.1	63.3	55.5	68.3	57.0	48.0	50.3	50.1	最低/年 43.6
現 地 気 圧	平均	1021.4	1017.3	1016.0	1014.3	1008.6	1007.2	1003.7	1008.9	1008.8	1014.3	1017.9	1017.8	年平均 1013.0
	最高	1029.1	1024.6	1025.3	1024.9	1017.5	1012.3	1010.9	1016.6	1015.9	1022.6	1027.3	1028.0	最高/年 1029.1
	最低	1011.0	1006.1	1003.3	1000.0	995.9	1001.0	964.2	988.8	998.9	1006.1	1008.0	1006.8	最低/年 964.2

備 考 天候の記録は、午前9時現在の観測である。
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

2 風向の状況

(H19年中)

月 \ 風向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	23.1	16.1	15.1	11.5	6.5	6.4	3.6	5.9	9.6	16.5	20.0	16.4	12.6
北 東 (NE)	19.1	25.0	22.0	22.8	25.1	18.8	12.4	21.7	25.6	23.8	21.6	18.6	21.4
東北東 (ENE)	1.7	3.5	4.1	4.8	6.8	13.2	9.3	11.7	15.4	7.1	1.8	7.7	7.3
東 (E)	0.6	2.1	2.0	4.9	6.3	8.3	5.0	13.0	8.2	4.1	0.3	2.1	4.7
東南東 (ESE)	0.2	1.7	2.4	2.8	2.9	4.3	2.5	7.7	3.8	0.4	0.2	0.3	2.4
南 東 (SE)	0.2	1.6	1.1	2.1	1.4	2.9	3.7	2.6	1.2	0.7	0.0	0.1	1.5
南南東 (SSE)	0.2	1.8	2.0	2.5	1.5	3.5	3.9	3.6	0.9	1.1	0.0	0.2	1.8
南 (S)	0.3	1.2	3.4	2.7	2.2	10.5	7.5	2.9	2.0	2.4	0.1	0.2	3.0
南南西 (SSW)	0.4	1.0	2.2	1.5	2.1	7.8	11.5	3.4	4.3	1.4	0.4	0.2	3.0
南 西 (SW)	0.9	1.5	2.7	1.3	3.8	4.7	6.9	3.3	3.5	2.0	0.8	0.4	2.7
西南西 (WSW)	2.0	2.5	3.9	3.3	8.2	5.9	7.0	9.2	8.2	4.3	2.0	1.3	4.8
西 (W)	3.7	5.9	5.1	10.3	14.2	8.4	15.0	7.3	6.3	8.4	3.4	2.4	7.5
西北西 (WNW)	7.8	8.3	7.7	7.2	8.6	2.1	4.6	2.0	1.6	1.3	2.2	8.6	5.2
北 西 (NW)	10.5	9.3	9.2	7.0	4.0	1.0	3.2	2.0	2.1	6.6	10.2	14.6	6.6
北北西 (NNW)	11.8	8.0	7.1	7.4	3.9	0.6	2.0	1.5	1.9	10.1	19.5	12.3	7.2
北 (N)	17.5	10.5	10.0	7.9	2.5	1.6	1.9	2.2	5.4	9.8	17.5	14.6	8.5

※ 風向頻度 (%) を示す。

3 各地の降水量 (防災テレメーターによる。)

(H19年中)

月 \ 観測所	冠 岳	生 福	旭	荒 川	羽島支所	土 川	市来庁舎	消 防 署
1	60.0	66.0	78.0	71.0	58.0	59.0	37.5	59.0
2	27.0	31.0	41.0	44.0	43.0	47.0	80.0	79.5
3	39.0	63.0	69.0	63.0	46.0	46.0	103.5	96.0
4	115.0	137.0	166.0	146.0	138.0	135.0	132.5	137.5
5	177.0	197.0	150.0	186.0	154.0	136.0	180.5	167.0
6	239.0	331.0	294.0	244.0	220.0	231.0	279.0	257.0
7	290.0	387.0	440.0	429.0	411.0	336.0	368.0	354.5
8	74.0	80.0	98.0	95.0	84.0	90.0	85.5	84.0
9	56.0	68.0	82.0	63.0	73.0	73.0	71.5	50.5
10	6.0	14.0	8.0	10.0	14.0	18.0	23.0	13.5
11	57.0	68.0	71.0	56.0	53.0	59.0	69.5	66.5
12	149.0	157.0	167.0	171.0	142.0	123.0	149.0	129.5
合計	1,289.0	1,599.0	1,664.0	1,578.0	1,436.0	1,353.0	1,579.5	1,494.5

**火事と救急は
119番**

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電話 0996 (32) 0119

FAX 0996 (32) 4396